年　報
（令和元年度実績）

静岡県工業技術研究所

令和３年２月

目　　次

1　概　況
(1)　工業技術研究所の沿革 …… 1
(2)　工業技術研究所全体の事業概要 …… 2
(3)　工業技術研究所及び各工業技術支援センターの施設の概要 …… 4
(4)　工業技術研究所及び各工業技術支援センターの組織図 …… 5
(5)　工業技術研究所及び各工業技術支援センターの職員 …… 8
(6)　工業技術研究所及び各工業技術支援センターの決算 …… 12
(7)　工業技術研究所及び各工業技術支援センターの主要購入機器設備…… 16

2　事業の実績
(1)　試験研究、調査及び指導事務 …… 17
ア　研究開発 …… 17
(ｱ)　研究課題 …… 17
(ｲ)　外部研究員招へい事業 …… 26
(ｳ)　特許等の登録及び出願 …… 29
イ　技術相談等 …… 30
(ｱ)　技術相談 …… 30
(ｲ)　依頼試験 …… 31
(ｳ)　機器使用等 …… 36
(ｴ)　研究会の育成 …… 37
(ｵ)　研修生の受入れ …… 38
ウ　技術情報提供 …… 41
(ｱ)　研究報告関係 …… 41
(ｲ)　研究発表会関係 …… 41
(ｳ)　研究所情報等の提供 …… 43
(ｴ)　研究所の事業広報等 …… 43
(ｵ)　講習会等 …… 44
(ｶ)　講師活動 …… 50
(ｷ)　委員派遣 …… 55
(ｸ)　産業技術連携推進会議等への派遣 …… 67
(ｹ)　学会等への発表、外部発行誌等への投稿及び展示会への出展…… 73
(2)　平成 30 年度研究成果一覧 …… 83
ア　工業技術研究所 …… 83
イ　沼津工業技術支援センター …… 92
ウ　富士工業技術支援センター …… 94
エ　浜松工業技術支援センター …… 96

１　概　況

（１）工業技術研究所の沿革

明治３９年　３月　「静岡県工業試験場紙業部、漆器部、庶務部」を静岡市追手町に、「染織部」を浜名郡天神町村馬込（現浜松市）に設置し、同年１１月に開場

大正　２年１２月　「静岡県工業試験場」を静岡市水落町に移転

大正　４年　９月　「染織部」を「静岡県工業試験場浜松分場」に改称

大正　８年　「浜松分場」を浜松市北寺島町に移転

大正　８年１２月　「静岡県工業試験場」を安倍郡豊田村南安東（後瓦場町、現静岡市葵区太田町）に移転

大正　９年　２月　「静岡県工業試験場」を「静岡県静岡工業試験場」に、「浜松分場」を「静岡県浜松工業試験場」に改称

昭和１２年１１月　「製紙部」を富士郡今泉村（現富士市今泉）に移転、「静岡県製紙工業試験場」を開設

昭和２７年　４月　「静岡県浜松工業試験場」を「静岡県浜松繊維工業試験場」に、「静岡県製紙工業試験場」を「静岡県紙業指導所」に改称

昭和２８年　１月　「静岡県静岡工業試験場」を静岡市安倍川町（現葵区駒形通５丁目）に移転

昭和３２年　４月　「静岡県紙業指導所」を「静岡県製紙工業試験場」に改称

昭和３６年　４月　「静岡県静岡工業試験場」を「静岡県工業試験場」に改称

昭和３６年　６月　「静岡県工業試験場浜松分場」を浜松市小池町に設置

昭和３８年　１月　「静岡県工業試験場浜松分場」を「静岡県機械技術指導所」と改称

昭和３８年１２月　「静岡県製紙工業試験場」を吉原市伝法（後富士市伝法、現富士市永田北町）に移転

昭和４２年　６月　「静岡県浜松繊維工業試験場福田技術指導所」を磐田郡福田町に開所

昭和５７年１１月　「静岡県工業試験場」を現在地（静岡市葵区牧ヶ谷）に移転

昭和５９年　４月　「静岡県工業試験場」を「静岡県工業技術センター」に改称

平成　２年　４月　「静岡県工業技術センター」を「静岡県静岡工業技術センター」に改称
「沼津工業技術センター」を現在地（沼津市大岡）に開設

平成　３年　４月　「静岡県製紙工業試験場」を現在地（富士市大渕）に移転し、機械・電子部門を加え、「静岡県富士工業技術センター」に改称
「静岡県浜松繊維工業試験場」と「静岡県機械技術指導所」を統合し、光・電子部門を加え、「静岡県浜松工業技術センター」として現在地(浜松市北区新都田１丁目）に移転、開設

平成１９年　４月　「沼津・富士・静岡・浜松工業技術センター」を統合し、「静岡県工業技術研究所」とし、「沼津・富士・浜松工業技術センター」を「工業技術支援センター」と名称変更

（２）工業技術研究所全体の事業概要

地域産業に最も近い技術支援機関として、研究開発、依頼試験・設備使用、技術相談・人材育成、技術情報の提供、産学官連携の促進や周辺地域の公設試験研究機関との連携強化等を通じて、ものづくりを行う県内中小企業の技術開発や課題解決を支援している。

特に､地域に根ざした産業や県の産業振興施策である静岡新産業集積クラスター推進事業をはじめとする集積を目指す産業分野の技術（光・照明・音響、製紙、バイオテクノロジー、食品、環境エネルギー、生活製品)、工業全般の基礎となる技術(金属材料、高分子材料、機械・電子、情報通信)において、地域産業の振興、新たな産業の創出などの基礎となる技術力の向上を支援している。

近年は、急速な人口減少による人手不足の顕在化や自動運転などの著しい技術革新への対応など、中小企業を取り巻く環境は大きく変化しており、企業の現場ニーズに対応した支援を推進するため、生産性向上を目的としたＩｏＴに関する研究支援、電気自動車を始めとする次世代自動車に関する研究支援、新たな素材として期待されるＣＮＦに関する支援について、工業技術研究所の各機関が連携した取組を進めている。

県内産業界を一体的に技術支援できる組織体制とするため、平成19年度には沼津・富士・静岡・浜松工業技術センターを統合し、工業技術研究所（静岡市）とし、その下に沼津・富士・浜松工業技術支援センターを配置した。

平成24年９月には工業技術研究所全体で、文部科学省から科研費応募資格を有する研究機関としての指定を受け、企業支援のための技術力向上に努めている。

さらに、これまでの窓口相談を拡充し、研究所及び各工業技術支援センターに平成26年３月から海外展開支援を含めた「ものづくり産業支援窓口」を開設したほか、商工会議所・商工会等との連携により、研究員が直接企業に出向く出張相談の強化や遠隔地での相談に対応する臨時窓口を設置するようにした。さらに、平成28年10月にはデザイン相談窓口を開設し、デザインに関する相談やデザイナーとのマッチング等の支援を強化した。

これらにより、企業が取り組む研究開発、製品設計・生産、品質管理における技術課題の解決のための支援が強化された。

○　主要事業

ア　研究開発

経常研究、共同研究、受託研究、新成長戦略研究を行い、地域産業の技術基盤の強化や先端技術の開発による産業支援を行う。

イ　技術相談・人材育成

中小企業の技術相談や各種研修会・講習会を開催し、地域産業の技術力向上に努める。

ウ　依頼試験・設備使用

地域企業の新製品開発や性能評価のため、依頼試験や試験機器・施設等を開放し、技術支援を行う。

エ　技術情報の提供

研究所のウェブサイトやメールマガジン、センターニュース、また各種技術講演会を通じて、地域の中小企業を中心に、製造技術や製品開発に必要な技術情報を提供する。

オ　産学官連携の促進

静岡県工業技術研究所産学官連携推進コーディネータを配置し、地域企業の技術情報の共有化や研究開発の支援などを通した地域企業、大学、支援機関との連携強化を図っている。

他県の公設試験研究機関との連携を密にするため、関東経済産業局管内の首都圏公設試験研究機関連携体（首都圏テクノナレッジ・フリーウェイ（TKF））や、中部経済産業局管内の中部イノベネットに参画し、情報交換や広域連携による域内企業の支援強化を進めている。また、関東甲信越地域の公設試が連携して中小企業の海外展開を支援する組織（広域首都圏輸出製品技術支援センター（MTEP））に参加し、域内企業の海外進出を技術面から支援している。

カ　先端産業創出プロジェクトの推進

先端産業創出プロジェクト（ファルマバレープロジェクト、フーズ・ヘルスケアオープンイノベーションプロジェクト、フォトンバレープロジェクト、次世代モビリティ、CNF、マリンバオープンイノベーションなど）による産業イノベーション拠点の形成事業と相互に連携することにより、新技術・新製品の開発を促進する。

（３）工業技術研究所及び各工業技術支援センターの施設の概要

ア　工業技術研究所(静岡市)

（ア）敷地面積　２３，１５７㎡

（イ）建築面積　　７，６５９㎡

（ウ）延床面積　１３，０９１㎡

○管理棟	鉄筋コンクリート４階建	２，２５０㎡	（管理部門）
○研究棟	鉄筋コンクリート４階建	４，１３０㎡	（研究部門）
○研修棟	鉄筋コンクリート平屋建	２７０㎡	（講習・研修施設）
○実験棟	鉄骨平屋建	２，７１９㎡	（実験施設）
○開放棟	鉄筋コンクリート３階建	１，６８０㎡	（開放試験・共同研究施設等）
○資料館	鉄筋コンクリート２階建	４６０㎡	
○付属棟		１，５８２㎡	（設備棟・薬品庫等）

イ　沼津工業技術支援センター(沼津市)

（ア）敷地面積　１９，９５８㎡

（イ）建築面積　　３，８９２㎡

（ウ）延床面積　　６，２１９㎡

○管理・研究・開放棟	鉄筋コンクリート３階建	４，３８４㎡	（管理・研究部門、開放試験）
○実験棟	鉄筋コンクリート平屋建	６４８㎡	(実験施設)
○付属棟		３０５㎡	（廃水処理施設等）
○インキュベートセンター	鉄骨平屋建	８８２㎡	

ウ　富士工業技術支援センター（富士市）

（ア）敷地面積　　２０，０７５㎡

（イ）建築面積　　４，４３３㎡

（ウ）延床面積　　８，８０１㎡

○管理･研究･開放棟	鉄筋コンクリート３階建	５，３４６㎡	（管理・研究部門、開放試験）
○実験棟	鉄筋コンクリート３階建	２，４１４㎡	（実験施設）
○付属施設		１６５㎡	（車庫・駐輪場等）
○インキュベートセンター	鉄骨平屋建	８７６㎡	

エ　浜松工業技術支援センター（浜松市）

（ア）敷地面積　２８，２３８㎡

（イ）建築面積　　５，７９２㎡

（ウ）延床面積　１１，１４２㎡

○管理研究棟	鉄筋コンクリート４階建	５，０２３㎡	（管理・研究部門）
○開放棟	鉄筋コンクリート２階建	１，２７６㎡	（開放試験･共同研究･講習研修施設）
○実験棟	鉄筋コンクリート２階建	３，３０９㎡	（実験施設）
○付属棟		１２８㎡	（排水処理施設・薬品庫等）
○車載機器EMCテストサイト	鉄骨平屋建	５３１㎡	（実験施設）
○インキュベートセンター	鉄骨平屋建	８７５㎡	

(4) 組織図

平成31年４月１日現在の工業技術研究所の組織及び業務分担は、次のとおりである。
職員総数は事務職員12人、技術職員99人、再任用職員７人、非常勤職員24人の計142人である。

- 工業技術研究所　（静岡市）（職員数56人、非常勤職員5人）
  - 沼津工業技術支援センター　（沼津市）（職員数15人、非常勤職員2人）
  - 富士工業技術支援センター　（富士市）（職員数17人、非常勤職員4人）
  - 浜松工業技術支援センター　（浜松市）（職員数30人、非常勤職員13人）

ア　工業技術研究所（静岡市）

職員数は事務職員５人、技術職員47人、再任用職員４人、非常勤職員５人の計61人である。

- 所　長
  - 次　長（総務課長兼務）
    - 総務班……予算、経理、人事、財産管理、物品出納等
      - 班長　1人
      - 主査　1人
      - 主任　2人
  - 企画調整部長
    - 企画調整班……研究所間の連絡調整・連携、総合相談窓口、情報収集分析、技術情報提供、産学官連携推進
      - 班長　1人
      - 上席研究員　2人
      - 主査　1人
      - 主事　1人
  - 研究調整官
    - 金属材料科……冶金技術、金属の腐食・防食技術、分析評価技術
      - 科長　1人
      - 上席研究員　1人
      - 主任研究員　2人
      - 主任　1人
    - 化学材料科……有機系材料の合成技術、利用技術、分析評価技術
      - 科長　1人
      - 上席研究員　2人
      - 主任研究員　1人
      - 主任　1人
    - 機械電子科……CAD／CAM／CAE技術、製造プロセス技術、電子計測・制御、ネットワーク応用技術
      - 科長　1人
      - 上席研究員　2人
      - 主任研究員　2人
      - 研究員　1人
    - 照明音響科……照明技術、音響技術
      - 科長　1人
      - 上席研究員　2人
      - 主任研究員　1人
  - 研究調整官
    - 食品科……食品生体機能調節・物理特性評価技術 食品製造プロセス・自動化技術、食品加工技術
      - 科長　1人
      - 上席研究員　4人
      - 主任研究員　1人
      - 研究員　1人
    - 環境エネルギー科……高度なリサイクル技術、環境調和型の新生産技術、資源エネルギー等の利用技術
      - 科長　1人
      - 上席研究員　4人
    - ユニバーサルデザイン科……人間工学に基づくUD製品設計・評価技術 CAD・CG活用によるデザイン企画・開発
      - 科長　1人
      - 上席研究員　2人
      - 研究員　1人
      - 主任　1人
    - 工芸科……木質材料の利用技術、快適で安全な住環境開発、工芸関連製品の高度化技術 ものづくり産業への支援
      - 科長　1人
      - 上席研究員　2人
      - 主任研究員　1人
      - 主任　1人

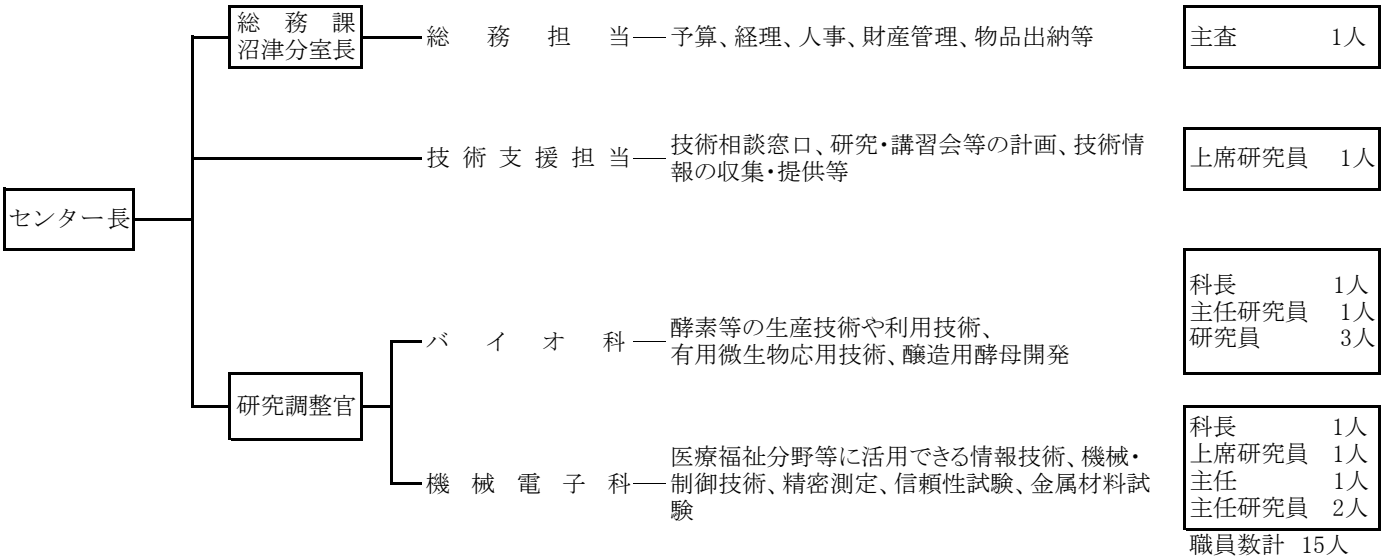
職員数計　56人

（その他非常勤職員等）

職　　名	人数
非常勤職員	5人

イ　沼津工業技術支援センター（沼津市）

職員数は事務職員２人、技術職員12人、再任用職員１人及び非常勤職員２人の計17人である。

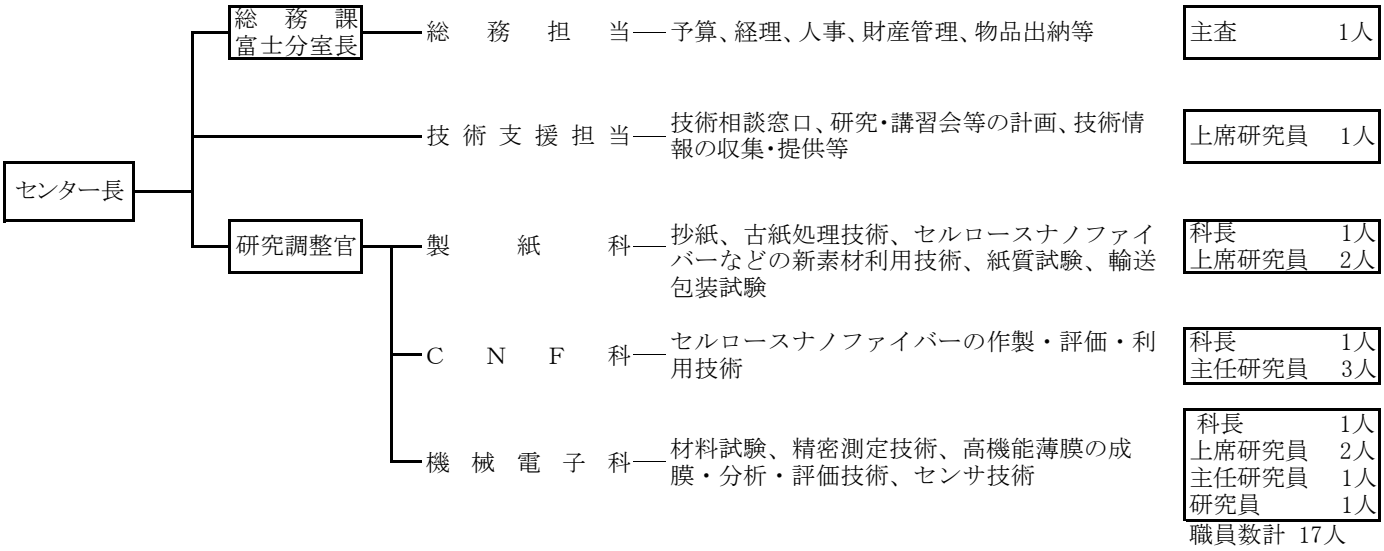


（その他非常勤職員等）

職　　名	人数
非常勤職員	2

ウ　富士工業技術支援センター（富士市）

職員数は事務職員２人、技術職員15人及び非常勤職員４人の計21人である。

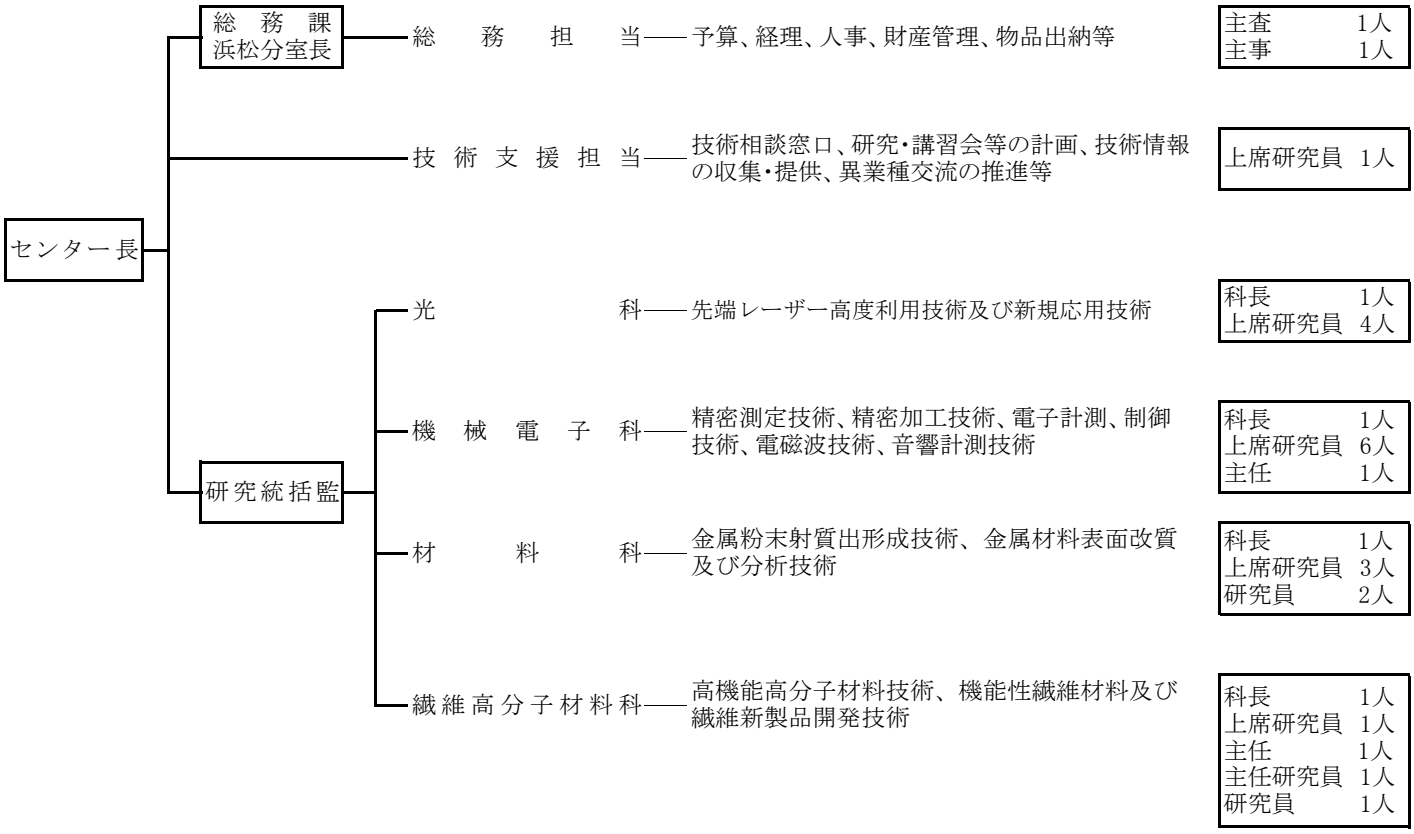


（その他非常勤職員等）

職　　名	人数
非常勤職員	4

エ　浜松工業技術支援センター（浜松市）

職員数は事務職員３人、技術職員25人、再任用職員２人、非常勤職員13人の計43人である。



職員数計　30人

（その他非常勤職員等）

職　　名	人数
非常勤職員	１３

（5）工業技術研究所及び各工業技術支援センターの職員

ア　工業技術研究所

部課科スタッフ	事務職員	技術職員	非常勤職員	部課科スタッフ	事務職員	技術職員	非常勤職員
所長		1		機械電子科		6	
次長兼総務課長	1			照明音響科		4	
企画調整部長		1		食品科		7	
研究調整官		2		環境エネルギー科		5	
総務課	3	1		ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙﾃﾞｻﾞｲﾝ科		5	
企画調整部	2	3	3	工芸科		5	2
金属材料科		5		計	6	５０	5
化学材料科		5					

職員名簿

組　織		職名	氏　名
所　　長			望月　一男
総務課		次長兼課長	石神　崇彦
		班　長(事)	橋本　充夫
		主　査(事)	小杉　郁奈
		主　任(事)	武田　府美緒
		主　任(技)	一瀬　将平
企画調整部		部　長	櫻川　智史
		班　長	油上　保
		上席研究員	増井　裕久
		上席研究員	及川　貴康
		主　査(事)	白輪　真也
		主　事	大長　弘幸
		非常勤職員　３名	
研究調整官			鈴木　敬明
	金属材料科	科　長	長谷川　和宏
		上席研究員	綿野　哲寛
		主　任(技)	杉山　治
		主任研究員	鈴木　洋光
		主任研究員	田中　宏樹
	化学材料科	科　長	木野　浩成
		上席研究員	菅野　尚子
		上席研究員	志田　英士
		主　任(技)	萱沼　広行
		主任研究員	小泉　雄輔
	機械電子科	科　長	赤堀　篤
		上席研究員	望月　紀寿
		上席研究員	望月　建治
		主任研究員	橘川　義明
		主任研究員	岩﨑　清斗
		研究員	山口　智之
	照明音響科	科　長	木野　直樹
		上席研究員	志智　亘

組　織		職名	氏　名
	照明音響科	上席研究員	豊田　敏裕
		主任研究員	柳原　亘
	研究調整官		田中　伸佳
	食品科	科　長	山下　里恵
		上席研究員	渡瀬　隆也
		上席研究員	淺沼　俊倫
		上席研究員	松野　正幸
		上席研究員	三宅　健司
		主任研究員	袴田　雅俊
		研究員	石橋　佳奈
	環境エネルギー科	科　長	宮原　鐘一
		上席研究員	鈴木　光彰
		上席研究員	太田良　和弘
		上席研究員	岡本　哲志
		上席研究員	室伏　敬太
	ユニバーサルデザイン科	科　長	多々良　哲也
		上席研究員	易　強
		上席研究員	船井　孝
		主　任(技)	深谷　謙一
		研究員	大賀　久美
	工芸科	科　長	長澤　正
		上席研究員	村松　重緒
		上席研究員	渡邊　雅之
		主　任(技)	八木　淳一
		主任研究員	菊池　圭祐
		非常勤職員　２名	
	(事)は事務職員、(技)及びその他は技術職員（非常勤職員を除く）		

イ　沼津工業技術支援センター

課科スタッフ	事務職員	技術職員	非常勤職員
センター長		1	
研究調整官		1	
分室長	1		
総務担当	1		1
技術支援担当		1	
バイオ科		5	
機械電子科		5	1
計	2	１３	2

職員名簿

組　織	職名	氏　名	組　織	職名	氏　名
センター長		大川　勝正	バイオ科	研究員	黒瀬　智英子
研究調整官		三浦　清	機械電子科	科　長	本多　正計
総務課分室長（事）		杉本　和子		上席研究員	竹居　翼
総務担当	主　査（事）	栗原　文子		主　任(技)	佐藤　廣美
	非常勤職員　１名			主任研究員	是永　宗祐
技術支援担当	上席研究員	飯塚　千佳世		主任研究員	松下　五樹
バイオ科	科　長	岩原　健二		非常勤職員　１名	
	主任研究員	勝山　聡	(事)は事務職員、その他は技術職員(非常勤職員を除く)		
	研究員	鈴木　雅博			
	研究員	望月　玲於			

ウ　富士工業技術支援センター

課科スタッフ	事務職員	技術職員	非常勤職員
センター長		1	
研究調整官		1	
分室長	1		
総務担当	1		1
技術支援担当		1	
製紙科		3	3
ＣＮＦ科		4	
機械電子科		5	
計	2	１５	4

職員名簿

組　織	職名	氏　名
センター長		佐野　禎彦
研究調整官		飯野　修
総務課分室長（事）		吉田　光廣
総務担当	主　査(事)	長野　佐和子
	非常勤職員	１名
技術支援担当	上席研究員	本間　信行
製紙科	科　長	杉本　芳邦
	上席研究員	深沢　博之
	上席研究員	齊藤　和明
	非常勤職員	３名

組　織	職名	氏　名
ＣＮＦ科	科　長	大竹　正寿
	主任研究員	田中　翔悟
	主任研究員	河部　千香
	主任研究員	前田　研司
機械電子科	科　長	真野　毅
	上席研究員	髙木　誠
	上席研究員	齊藤　将人
	主任研究員	稲葉　彩乃
	研究員	井出　達樹

(事)は事務職員、その他は技術職員(非常勤･臨時職員を除く)

エ　浜松工業技術支援センター

課科	事務職員	技術職員	非常勤職員・臨時職員
センター長		1	
研究統括官		1	
分室長	1		
総務担当	2		1
技術支援担当		1	2
光科		5	
機械電子科		8	2
材料科		6	4
繊維高分子材料科		5	4
合計	3	２７	１３

職員名簿

組　織	職名	氏　名
センター長		田中　孝彦
研究統括官		松田　稔
総務課分室長(事)		石原　秀哲
総務担当	主　査(事)	鈴木　裕子
	主　事	山野井　美央
	非常勤職員　１名	
技術支援担当	上席研究員	山下　晶平
	非常勤職員　２名	
光科	科　長	植田　浩安
	上席研究員	小松　剛
	上席研究員	鷺坂　芳弘
	上席研究員	太田　幸宏
	上席研究員	中野　雅晴
機械電子科	科　長	渥美　博安
	上席研究員	増田　康利
	上席研究員	針幸　達也
	上席研究員	岩澤　秀
	上席研究員	山田　浩文

組　織	職名	氏　名
機械電子科	上席研究員	長津　義之
	上席研究員	上野　貴康
	主　任(技)	長谷川　茂
	非常勤職員　２名	
材料科	科　長	伊藤　芳典
	上席研究員	吉岡　正行
	上席研究員	田光　伸也
	上席研究員	植松　俊明
	研究員	望月　智文
	研究員	小粥　基晴
	非常勤職員４名	
繊維高分子材料科	科　長	鈴木　一之
	上席研究員	鈴木　重好
	主　任(技)	石原　彰浩
	主任研究員	森田　達弥
	研究員	長房　秀幸
	非常勤職員４名	
(事)は事務職員、その他は技術職員(非常勤職員を除く)		

（６）工業技術研究所及び各工業技術支援センターの決算

ア　工業技術研究所

（ア）歳入　（単位：円）

科　　目	調　定　額	収　入　額	収入未済額	備　考
使用料･手数料	24,390	24,390 （証紙39,642,070）	0	
財 産 収 入	342,790	342,790	0	
諸　収　入	9,237,829	9,237,829	0	
計	9,605,009	9,605,009 （証紙39,642,070）	0	

（イ）歳出（人件費を除く）　（単位：円）

科　　目	令　達　額	支　出　額	残　　額	備　考
経営管理費	4,843,654	4,843,654	0	
くらし・環境費	77,000	77,000	0	
経済産業費	259,688,936	259,688,936	0	
計	264,609,590	264,609,590	0	

歳出内訳

○経営管理費	経営管理費	4,777,654 円
	出納費	66,000 円
○くらし・環境費	環境費	77,000 円
○経済産業費	経済産業費	18,940 円
	産業革新費	99,519,164 円
	商工業費	160,135,432 円
	農業費	15,400 円

（ウ）国庫補助等　（単位：円）

補助金等の名称	県　事　業　名	事業費
フーズ・サイエンスセンター補助金 （公益財団法人静岡県産業振興財団）	フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト推進事業	36,735,578

イ　沼津工業技術支援センター

（ア）歳入　（単位：円）

科　　目	調　定　額	収　入　額	収入未済額	不納欠損額	備　考
使用料･手数料	1,727,780	1,511,180 (証紙12,454,250)	0	216,600	
財 産 収 入	337,480	337,480	0	0	
諸　収　入	1,709,815	1,681,215	28,600	0	
計	3,775,075	3,529,875 (証紙12,454,250)	28,600	216,600	

（イ）歳出（人件費を除く）　（単位：円）

科　　目	令　達　額	支　出　額	残　　額	備　考
経営管理費	3,657,205	3,657,205	0	
経済産業費	109,848,101	109,848,101	0	
計	113,505,306	113,505,306	0	

歳出内訳

○経営管理費	経営管理費	3,579,325 円
	出納費	77,880 円
○経済産業費	経済産業費	7,560 円
	産業革新費	14,715,821 円
	商工業費	95,124,720 円

（ウ）国庫補助等　（単位：円）

補助金等の名称	県　事　業　名	事業費
公設工業試験研究所等における機械設備拡充補助事業（(公財)ＪＫＡ）	機械工業育成機器整備事業費 （機器名：精密万能材料試験機）	19,140,000

ウ　富士工業技術支援センター

（ア）歳入　（単位：円）

科　　目	調　定　額	収　入　額	収入未済額	備　考
使用料･手数料	2,335,587	2,335,587 (証紙 14,823,070)	0	
財 産 収 入	323,867	323,867	0	
諸　収　入	1,953,299	1,953,299	0	
計	4,612,753	4,612,753 (証紙 14,823,070)	0	

（イ）歳出（人件費を除く）　（単位：円）

科　　目	令　達　額	支　出　額	残　　額	備　考
経営管理費	22,330	22,330	0	
くらし・環境費	2,130,260	2,130,260	0	
経済産業費	276,519,403	276,519,403	0	
計	278,671,993	278,671,993	0	

歳出内訳

○経営管理費	出納費	22,330 円
○くらし・環境費	環境費	2,130,260 円
○経済産業費	経済産業費	13,020 円
	産業革新費	22,346,143 円
	商工業費	254,160,240 円

エ　浜松工業技術支援センター

（ア）歳入　（単位：円）

科　　目	調　定　額	収　入　額	収入未済額	備　考
使用料･手数料	2,229,170	2,229,170 （証紙 66,336,230）	0	
財 産 収 入	515,560	515,560	0	
諸　収　入	8,400,711	8,400,711	0	
計	11,145,441	11,145,441 （証紙 66,336,230）	0	

（イ）歳出（人件費を除く）　（単位：円）

科　　目	令　達　額	支　出　額	残　　額	備　考
経営管理費	4,777,767	4,777,767	0	
経済産業費	344,842,182	344,842,182	0	
計	349,619,949	349,619,949	0	

歳出内訳

○経営管理費	経営管理費	4,777,767 円
○経済産業費	経済産業費	41,290 円
	産業革新費	124,472,012 円
	商工業費	220,328,880 円

（ウ）国庫補助等　（単位：円）

補助金等の名称	県　事　業　名	事業費
地方創生推進交付金 （内閣府）	ＥＶ・自動運転化等技術革新対応促進事業	217,600
研究成果展開事業 研究成果最適展開支援プログラム （国立研究開発法人　科学技術振興機構）	公募競争型資金活用研究事業 技術研究所研究機器等整備事業費 （機器名：周波数カウンタほか）	1,172,340
戦略的基盤技術高度化支援事業 （関東経済産業局）	公募競争型資金活用研究事業 技術研究所試験研究費	1,439,271

（７）工業技術研究所及び各工業技術支援センターの主要購入機器設備（金額1,000千円以上）

品名	所属	購入金額（円）	事業名	区分
1次元・2次元ガスクロマトグラフ質量分析・嗅覚アッセイシステム	本所	26,946,000	フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト推進事業	団体補助
皮膚水分蒸散計	本所	1,693,440		
精密万能材料試験機	沼津	19,140,000	機械工業育成機器整備事業費（公益財団法人JKA）	
高機能シート試作装置	富士	135,300,000	CNF製品開発支援機器整備事業費	県単独
非破壊3次元計測装置（高分解能計測用X線CTシステム）	浜松	99,900,000	EV・自動運転化等技術革新対応促進事業	
純水製造装置	富士	1,425,600	CNFプロジェクト推進事業費	
減圧乾燥機	本所	1,109,802	新成長戦略研究費	
液中分散安定性評価装置	富士	6,426,000		
HDR対応高輝度表示システム	本所	5,346,000		
小型射出成形機	本所	3,380,400		
屈折率測定装置	本所	2,926,800		
ミクロトーム	本所	2,570,400		
偏光顕微鏡	本所	2,138,400		
HUD用光学性能評価ｿﾌﾄｳｴｱ	本所	2,073,500		
Industry4.0ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞﾓﾃﾞﾙ	本所	1,175,900		
炭素硫黄分析装置	浜松	21,560,000	工業技術研究所試験検査機器整備事業費	
電気油圧式疲労試験機	本所	19,800,000		
紙質評価試験システム	富士	15,282,000		
金属組織観察システム	浜松	14,364,000		
繊維長分布測定装置	富士	9,072,000		
音響周波数分析装置	本所	8,910,000		
蒸米装置蒸気ボイラ	沼津	2,255,040		

２　事業実績

（１）試験研究、調査及び指導事務

ア　研究開発

（ア）研究課題

ａ　工業技術研究所及び工業技術支援センターの研究課題数

	新成長戦略研究	県単独研究	一般共同研究	受託研究		計
				競争的資金による研究	競争的資金以外の研究	
工業技術研究所	７（３）※１※２※３	８（２）※４	９（１）※２	１１	６	４１（６）
沼津工業技術支援センター	２（１）※３	２	１	０	３	８（１）
富士工業技術支援センター	２	１	５	０	０	８
浜松工業技術支援センター	３	２	３	４	６	１８
合計	１４（４）	１３（２）	１８（１）	１５	１５	７５（７）

（ ）内は内数

※１　畜産技術研究所が統括して、静岡においても実施

※２　富士工業技術支援センターが統括して、静岡においても実施

※３　水産技術研究所が統括して、静岡及び沼津においても実施

※４　県単独研究の２課題について、個人向け資金（科研費）を活用

（ａ）工業技術研究所の研究課題の内訳　（単位:件）

	新成長戦略研究	県単独研究	一般共同研究	受託研究		計
				競争的資金による研究	競争的資金以外の研究	
金属材料科	０	０	１	１	０	２
化学材料科	１（１）※２	０	２（１）※２	０	０	３（２）
機械電子科	１	１（１）※４	０	０	１	３（１）
照明音響科	２	０	０	１	１	４
食品科	１（１）※３	３	４	５	１	１４（１）
環境エネルギー科	２（１）※１	０	１	１	１	５（１）
ユニバーサルデザイン科	０	２（１）※４	１	２	０	５（１）
工芸科	０	２	０	１	２	５
合計	７（３）	８（２）	９（１）	１１	６	４１（６）

（ ）内は内数

※１　畜産技術研究所が統括して、静岡においても実施

※２　富士工業技術支援センターが統括して、静岡においても実施

※３　水産技術研究所が統括して、静岡及び沼津においても実施

※４　県単独研究の２課題について、個人向け資金（科研費）を活用

（ｂ）沼津工業技術支援センターの研究課題の内訳　（単位:件）

	新成長戦略研究	県単独研究	一般共同研究	受託研究		計
				競争的資金による研究	競争的資金以外の研究	
バイオ科	１（１）※1	1	1	0	2	５（１）
機械電子科	1	1	0	0	1	3
合計	２（１）	2	1	0	3	８（１）

( )内は内数
※１　水産技術研究所が統括して、静岡及び沼津においても実施

（ｃ）富士工業技術支援センターの研究課題の内訳　（単位:件）

	新成長戦略研究	県単独研究	一般共同研究	受託研究		計
				競争的資金による研究	競争的資金以外の研究	
製紙科	0	1	0	0	0	1
ＣＮＦ科	1	0	4	0	0	5
機械電子科	1	0	1	0	0	2
合計	2	1	5	0	0	8

（ｄ）浜松工業技術支援センターの研究課題の内訳　（単位:件）

	新成長戦略研究	県単独研究	一般共同研究	受託研究		計
				競争的資金による研究	競争的資金以外の研究	
光科	0	1	2	0	0	3
機械電子科	1	1	0	0	1	3
材料科	2	0	1	3	4	１０
繊維高分子材料科	0	0	0	1	1	2
合計	3	2	3	4	6	１８

b　令和元年度研究課題名一覧

（ａ）工業技術研究所研究課題名一覧

新・継 開始年	課題名	担当部門署	備考
新成長戦略研究			
継続 H30～	車載光学機器産業を支援する設計・評価・生産支援技術の開発	照明音響科	
継続 H30～	生産基盤拡大に繋がる家畜ふん尿の乾燥及びエネルギー転換技術の開発	環境エネルギー科	
新規	次世代自動車軽量化のためのＣＮＦ複合材の開発	化学材料科	
新規	ＩｏＴ導入支援のための技術拠点と先進事例モデルの構築	機械電子科	
新規	ドイツ、フラウンホーファー研究機構等と県内産業との連携推進	照明音響科	緊急対応研究枠
新規	海洋微生物を活用したバイオマスリファイナリーによるサプリメントの開発	環境エネルギー科	緊急対応研究枠
新規	マリンバイオを活用した新たな食品開発に向けた微生物探索技術の開発	食品科	緊急対応研究枠
県単独研究			
継続 H28～	静岡型健康長寿モデル構築のためのレシピ及び高機能型食品開発	食品科	
継続 H30～	作業負担を軽減する新たなアシスト機構の開発	ユニバーサルデザイン科	科学研究費助成事業（学振）
継続 H30～	酪農用作業に適したアシストスーツの開発	ユニバーサルデザイン科	
新規	農業実践例の大規模類似ネットワークに基づくナレッジベースの構築	機械電子科	科学研究費助成事業（学振）
新規	セルロースナノファイバーによる香り放散機構の解明	食品科	
新規	みかん搾汁残渣を用いた機能性食品素材の開発	食品科	
新規	家具の品質向上に向けた要素技術の開発	工芸科	
新規	積層板の音響特性における接着剤の影響	工芸科	
一般共同研究			
新規	ＥＶシフトに要求される欠陥レスで高密着な樹脂めっきの作製	金属材料科	
新規	射出成形における部材金属と樹脂の表面特性向上に関する研究	化学材料科	

新・継 開始年	課題名	担当部門署	備考
新規	樹脂中に含まれる微小な植物繊維の定量評価法検討	化学材料科	
新規	ＴＲＰ受容体発現細胞の作成・培養、３種のＴＲＰ受容体の活性評価（化粧品素材としての皮膚機能に対する評価）	食品科	地方創生推進交付金（内閣府）
新規	化粧品素材のＲＯＳアッセイによる光安全性評価試験（化粧品素材としての光過敏性リスクに対する評価）	食品科	地方創生推進交付金（内閣府）
新規	ナノセルロースを活用した医療福祉ニーズに応える機能性アロマ・基礎化粧品の開発	食品科	
新規	ドライマンナン（乾燥こんにゃく）を利用した新たな低糖質加工食品の開発	食品科	
新規	農林業のニーズに応える低コスト・高効率バイオマスガス化発電の要素技術である前段処理装置の開発	環境エネルギー科	新成長産業戦略的育成事業助成事業（財団）
新規	医療機関と連携した人間中心設計による医療機器の開発	ユニバーサルデザイン科	
受託研究（競争的資金による研究）			
継続 H29～	静岡版メタン発酵プラントによる食品バイオマスのエネルギー利用	環境エネルギー科	小型メタン発酵プラント事業化推進事業費（県エネ課）
継続 H30～	次世代コミュニケーションランプの微細高精度化に対応する金型加工技術の確立	照明音響科	戦略的基盤技術高度化支援事業（経産省）
継続 H30～	セルロースナノファイバーを活用したアロマ・基礎化粧品の開発	食品科	新成長産業戦略的育成事業助成事業（財団）
継続 H30～	医療現場で活用できる頭部固定枕の開発	ユニバーサルデザイン科	可能性調査事業（ファルマバレーセンター）
新規	エアコン用圧縮機の省エネと小型化を両立する高強度軽量スクロール翼のニアネット鋳造技術の開発	金属材料科	戦略的基盤技術高度化支援事業（経産省）
新規	新マイクロ波抽出技術による魚節フレーバー濃縮エキスの開発	食品科	地域課題に係る産学共同研究委託事業（B-nest）
新規	静岡県産アカモクの機能性成分及び微生物評価	食品科	マリンオープンイノベーション事業化促進事業（県産業イノベ課）
新規	低カロリー低糖質な新素材「ドライマンナン（乾燥こんにゃく）」を使用したヘルシーハンバーグの研究開発	食品科	地域課題に係る産学共同研究委託事業（B-nest）
新規	緑茶葉等由来の食品用微細化素材の開発及び物性等の評価	食品科	新成長産業戦略的育成事業助成事業（財団）

新・継 開始年	課題名	担当部門署	備考
新規	介護動作指導支援システムの提案及びユーザビリティ評価	ユニバーサルデザイン科	新成長産業戦略的育成事業助成事業（財団）
新規	流動成形加工した木材の物性評価	工芸科	先端企業育成プロジェクト推進事業（県新産課）
受託研究（競争的資金以外の研究）			
新規	ＬＰＷＡを用いためっき処理装置の遠隔監視システムの構築	機械電子科	
新規	オーディオスピーカーの音響特性の評価	照明音響科	
新規	栄養機能食品開発を目指したキクラゲの紫外線照射条件の検討	食品科	
新規	バイオマス及びガス化生成物の元素分析による性能評価に関する研究	環境エネルギー科	
新規	灰分除去処理を施した木質バイオマス活性炭の電気二重層キャパシタ特性	工芸科	

注）経産省：経済産業省、財団：(公財)静岡県産業振興財団、学振：（独）日本学術振興会
県エネ課：静岡県エネルギー政策課、県産業イノベ課：静岡県産業イノベーション推進課
県新産課：静岡県新産業集積課

（ｂ）沼津工業技術支援センター研究課題名一覧

新・継 開始年	課題名	担当部門	備考
新成長戦略研究			
継続 H30～	次世代型インプラントの型鍛造成形を可能にする設計支援技術の開発	機械電子科	
新規	マリンバイオを活用した新たな食品開発に向けた微生物探索技術の開発	バイオ科	緊急対応研究枠
県単独研究			
継続 H30～	かつお腸管由来乳酸菌を用いた新奇発酵食品の開発	バイオ科	地方創生加速化交付金（内閣府）
継続 H30～	携帯情報端末を活用した酸素ボンベ残量メータの開発	機械電子科	
一般共同研究			
継続 H30～	しずおか有用微生物ライブラリを活用した静岡サワーエールの開発	バイオ科	
受託研究（競争的資金以外の研究）			
新規	県オリジナル酒造好適米新系統「静系 96 号」及び「静系 97 号」の醸造適性評価	バイオ科	
新規	様々な酒類醸造用酵母株のビール醸造特性の評価	バイオ科	
新規	骨折治療用インプラントの金属組織評価	機械電子科	

（ｃ）富士工業技術支援センター研究課題名一覧

新・継 開始年	課題名	担当部門	備考
新成長戦略研究			
継続 H29～	異種材料接合のための新型プラズマ照射装置の開発	機械電子科	
新規	次世代自動車軽量化のためのＣＮＦ複合材の開発	ＣＮＦ科	
県単独研究			
新規	再生紙の低密度化に関する研究	製紙科	
一般共同研究			
新規	ＣＮＦによる地域産業の活性化支援研究 ～ＣＮＦの繊維製品への活用の検討～	ＣＮＦ科	
新規	ＣＮＦ製造に関する解繊エネルギーの低減	ＣＮＦ科	
新規	古紙等のパルプ繊維を複合化したハイブリッド樹脂におけるＣＮＦ分散制御技術の確立	ＣＮＦ科	
新規	樹脂中に含まれる微小な植物繊維の定量評価法検討	ＣＮＦ科	
新規	計測･センシング技術の動物繁殖現場への応用展開	機械電子科	

（ｄ）浜松工業技術支援センター研究課題名一覧

新・継 開始年	課題名	担当部門	備考
新成長戦略研究			
継続 H29～	次世代自動車の軽量化に貢献する３Ｄ熱変形等計測・評価技術の開発	機械電子科	
新規	次世代自動車の構造材料に関するデータベースの構築	材料科	緊急対応研究枠
新規	撥液めっき技術の高度化のためのめっき２層化の試み	材料科	チャレンジ研究枠
県単独研究			
継続 H30～	分光特性を利用したものづくりの品質検査に関する研究	光科	
継続 H30～	ＥＭＣ試験機器の日常点検法の確立と不確かさの算出による測定信頼性の向上	機械電子科	
一般共同研究			
継続 H29～	レーザーを用いた樹脂材料への染色技術の産業応用	光科	
継続 H29～	医療器具関連のレーザー加工装置の開発	光科	
新規	材料評価･解析のスキルアップに向けたサンプリングメソッドの開発	材料科	
受託研究（競争的資金による研究）			
継続 H29～	熱可塑性樹脂を母材とした繊維強化複合材の成形加工に関する研究開発	繊維高分子材料科	戦略的基盤技術高度化支援事業（経産省）
継続 H30～	めっき技術による撥液性皮膜作製技術の開発	材料科	A-STEP（JST）
新規	マイクロテクスチャエンドミルの主軸反転傾斜切削による超微細パウダー製造技術の開発	材料科	戦略的基盤技術高度化支援事業（経産省）
新規	加熱成形されたステンレス部品の物性評価	材料科	新成長産業戦略的育成事業助成事業（財団）
受託研究（競争的資金以外の研究）			
新規	ＦＳＷ接合したアルミニウム合金鋳造材の組織と引張特性の評価	機械電子科	
新規	新規表面処理高張力チェーンの性能評価について	材料科	
新規	耐フッ素コーティングの評価について	材料科	

新・継 開始年	課題名	担当部門	備考
新規	電磁鋼板のレーザー切断加工における照射条件の影響	材料科	
新規	リードフレーム上Ａｕめっきの変色原因の解析に関する研究	材料科	
新規	生分解性プラスチックの紡糸に関する研究	繊維高分子材料科	

注）経産省：経済産業省、JST：(国研)科学技術振興機構

（イ）外部研究員招へい事業

a　工業技術研究所及び工業技術支援センターの合計

	令和元年度	
	人数	指導時間
工業技術研究所	１２	８２
沼津工業技術支援センター	4	２４
富士工業技術支援センター	3	２４
浜松工業技術支援センター	8	６４
合計	２７	１９４

b　外部研究員一覧

（ａ）工業技術研究所外部研究員

所属	専門	指導を受ける内容	指導時間
(株)ケイ・エム・ティ	３ＤＣＡＤによる３次元シミュレーション技法	３ＤＣＡＤ（Creo Parametri c）及びＣＡＥ（Creo Slimu late）の使用方法	２１
東京大学大学院	炭素材料	木質材料の高付加価値化に関する指導	4
増幸産業（株）	粉砕機を用いた粉体・流体力学・ナノセルロース	マスコロイダーによる食品原料の微細化について	4
産業技術総合研究所	環境微生物解析	次世代シークエンサーによる環境微生物解析技術とその応用について	4
九州大学大学院	材料工学	高硬度なめっき皮膜の作製法に関する指導	8
信州大学	表界面工学、界面化学、コロイド化学、超音波化学	コロイド界面化学の基礎から応用について	8
京都大学	化学工学	効率的なフェントン反応の発生法に関する指導	4
はまなこ環境ネットワーク	経済、材料技術	地域産業活性化のために研究所がとるべき戦略	9
農業・食品産業技術総合研究機構	食品微生物検査	食品の微生物検査の最新情報、損傷菌研究及び企業への衛生指導方法について	4
（一財）エネルギー総合工学研究所	化工物性・移動操作・単位操作、反応工学・プロセスシステム	燃料電池の評価方法に関する指導	8

福井大学	材料工学	樹脂材料の表面改質に関する指導	4
武庫川女子大学	高分子化学	セルロースナノファイバーの安全性について	4
合計　１２　人		合計　８２　時間	

（ｂ）沼津工業技術支援センター外部研究員一覧

所　　属	専　門	指導を受ける内容	指導時間
静岡文化芸術大学	ＣＡＤ／ＣＡＭ／ＲＰ、デジタルモデリング	自由曲面形状を有した３次元形状のモデリング技術について	7
中部大学	画像処理	画像認識や画像処理の手法について	4
(独)酒類総合研究所	発酵・醸造	清酒醸造における実践的な麹作りと実験室規模での麹造りについて	7
東京農業大学	醸造学	微生物選抜及びビール試験醸造について	6
合計　４　人		合計　２４　時間	

（ｃ）富士工業技術支援センター外部研究員一覧

所　　属	専　門	指導を受ける内容	指導時間
(一社)静岡県紙パルプ技術協会	製紙工学	再生紙の低密度化に関する研究について	１２
沼津工業高等専門学校	振動工学、情報処理技術	機械学習について	8
産業技術総合研究所	ＣＮＦの作製・評価と樹脂複合化	次世代自動車軽量化のためのＣＮＦ複合材の開発について	4
合計　３　人		合計　２４　時間	

（ｄ）浜松工業技術支援センター外部研究員一覧

所　　属	専　門	指導を受ける内容	指導時間（計画）
静岡理工科大学	高分子科学	貴金属めっきへの機能性付与	１２
ＥＭＣＤＯＣ	ＥＭＣ関連	車載機器のＥＭＣ測定技術	１６
光産業創成大学院大学	光学設計、光情報処理、	分光特性を利用したものづくりの品質検査に関する研究	9
ＣＦＲＰ事業化研究会	高分子材料・複合材	熱可塑性樹脂を母材とした繊維強化複合材の成形加工に関する研究	１２
椙山女学園大学	染色技術	熱可塑性樹脂を母材とした繊維強化複合材の成形加工に関する研究	4
今田技術士事務所	着色材料	レーザーによる樹脂材料の染色技術の産業応用	4
大阪大学レーザー科学研究所	レーザー工学	レーザーによる樹脂材料の染色技術の産業応用	4
スギテクノ	電気電子情報通信	材料評価・解析におけるＡＩ・ＩｏＴの活用について	3
合計　８　人		合計　６４　時間	

（ウ）　特許等の登録及び出願

a　工業技術研究所及び工業技術支援センターの合計

	出願中件数	登録件数
工業技術研究所	１０	２１[1)]
沼津工業技術支援センター	1	１[2)]
富士工業技術支援センター	2	5
浜松工業技術支援センター	４[3)]	１５[4)]
合計	１７	４２

１）意匠２件（国内１件、海外１件）を含む。

２）著作権

３）外国特許出願１件を含む。

４）外国特許登録８件を含む。

b　a のうち特許等出願、登録及び消滅件数

	出願件数	登録件数	消滅件数
工業技術研究所	3	1	1
沼津工業技術支援センター	0	0	0
富士工業技術支援センター	0	1	0
浜松工業技術支援センター	1	0	1
合計	4	3	2

イ　技術相談等

（ア）技術相談

a　工業技術研究所及び工業技術支援センターの相談件数合計

	工業技術研究所	沼津工業技術支援センター	富士工業技術支援センター	浜松工業技術支援センター	合計
技術相談	13,727	2,630	4,372	11,836	32,565
実地指導	1,768	202	229	356	2,555
合　計	15,495	2,832	4,601	12,192	35,120

(a)　工業技術研究所の相談件数

所　属	金属材料科	化学材料科	機械電子科	照明音響科
技術相談	1,611	1,942	1,174	1,451
実地指導	49	69	133	84
合　計	1,660	2,011	1,307	1,535
所　属	食品科	環境エネルギー科	ﾕﾆﾊﾞｰｻﾙﾃﾞｻﾞｲﾝ科	工芸科
技術相談	2,212	1,163	2,073	1,997
実地指導	390	456	157	235
合　計	2,602	1,619	2,230	2,232
所　属	その他	合計		
技術相談	104	13,727		
実地指導	195	1,768		
合　計	299	15,495		

(b)　沼津工業技術支援センター相談件数

所　属	バイオ科	機械電子科	その他	合計
技術相談	241	2,312	77	2,630
実地指導	85	53	64	202
合　計	326	2,365	141	2,832

(c)　富士工業技術支援センター相談件数

所　属	製紙科	ＣＮＦ科	機械電子科	その他
技術相談	1,816	777	1,692	87
実地指導	61	77	76	15
合　計	1,877	854	1,768	102
所　属	合計			
技術相談	4,372			
実地指導	229			
合　計	4,601			

(d)　浜松工業技術支援センター相談件数

所　属	光科	機械電子科	材料科	繊維高分子材料科
技術相談	995	2,792	5,538	2,378
実地指導	51	37	184	33
合　計	1,046	2,829	5,722	2,411
所　属	その他	合計		
技術相談	133	11,836		
実地指導	51	356		
合　計	184	12,192		

（イ）依頼試験

a　依頼試験内訳（工業技術研究所及び工業技術支援センターの合計）

		件数	金額(円)
1　分析	定性分析	2,175	12,833,890
	定量分析	637	3,612,740
2　工業用材料	材料強度試験	925	2,023,020
	長期性能試験	53,276	13,701,880
	特殊試験	486	6,015,510
3　木材工業	木材試験	55	301,550
	塗料試験	28	43,330
	製品試験	292	1,423,520
4　化学工業	金属表面処理試験	142	742,520
	プラスチック及びゴム試験	0	0
	微生物試験	1	6,300
	セラミックス試験	0	0
	熱勘定試験	0	0
5　機械金属工業	精密測定	287	866,670
	機械器具の検査及び試験	24	131,280
	金属試験	202	951,750
	電気試験	36	114,210
6　包装材料	包装材料試験	48	63,360
7　繊維工業	繊維材料試験	1	3,510
	編織試験	79	257,430
	染色試験	0	0
	整理仕上加工試験	0	0
8　製紙工業	原材料試験	139	1,489,940
	紙質試験	511	1,321,800
	製紙及び紙加工試験	17	145,980
9　加工	塗装加工	0	0
	木竹材加工	2	6,460
10　設計及び調整	機械等の設計及び調整	302	640,210
	繊維デザイン	0	0
	商業及び工業デザイン	17	46,180
11　写真及び複写		113	32,610
12　成績書の複本		15	10,780
合　　計		59,810	46,786,430

(a) 工業技術研究所の依頼試験実績

		件数	金額(円)
1　分析	定性分析	282	4,162,240
	定量分析	377	1,275,500
2　工業用材料	材料強度試験	625	1,363,600
	長期性能試験	15,684	5,345,110
	特殊試験	324	4,793,620
3　木材工業	木材試験	55	301,550
	塗料試験	19	29,560
	製品試験	292	1,423,520
4　化学工業	金属表面処理試験	47	339,250
	プラスチック及びゴム試験		
	微生物試験		
	セラミックス試験		
	熱勘定試験		
5　機械金属工業	精密測定	15	20,100
	機械器具の検査及び試験		
	金属試験	26	158,130
	電気試験		
6　包装材料	包装材料試験		
7　繊維工業	繊維材料試験		
	編織試験		
	染色試験		
	整理仕上加工試験		
8　製紙工業	原材料試験		
	紙質試験		
	製紙及び紙加工試験		
9　加工	塗装加工		
	木竹材加工	2	6,460
10　設計及び調製	機械等の設計及び調製	5	25,500
	繊維デザイン		
	商業及び工業デザイン	17	46,180
11　写真及び複写			
12　成績書の複本			
合　　計		17,770	19,290,320

(b) 沼津工業技術支援センターの依頼試験実績

		件数	金額(円)
1　分析	定性分析	35	196,660
	定量分析	14	22,280
2　工業用材料	材料強度試験	29	65,470
	長期性能試験	10,064	2,443,390
	特殊試験	10	14,080
3　木材工業	木材試験		
	塗料試験		
	製品試験		
4　化学工業	金属表面処理試験		
	プラスチック及びゴム試験		
	微生物試験	1	6,300
	セラミックス試験		
	熱勘定試験		
5　機械金属工業	精密測定	272	846,570
	機械器具の検査及び試験	24	131,280
	金属試験	8	61,760
	電気試験	36	114,210
6　包装材料	包装材料試験		
7　繊維工業	繊維材料試験		
	編織試験		
	染色試験		
	整理仕上加工試験		
8　製紙工業	原材料試験		
	紙質試験		
	製紙及び紙加工試験		
9　加工	塗装加工		
	木竹材加工		
10　設計及び調製	機械等の設計及び調製		
	繊維デザイン		
	商業及び工業デザイン		
11　写真及び複写		44	2,820
12　成績書の複本			
合　　計		10,537	3,904,820

（c）富士工業技術支援センターの依頼試験実績

		件数	金額(円)
1　分析	定性分析		
	定量分析		
2　工業用材料	材料強度試験	15	20,630
	長期性能試験	5,771	1,426,590
	特殊試験		
3　木材工業	木材試験		
	塗料試験		
	製品試験		
4　化学工業	金属表面処理試験		
	プラスチック及びゴム試験		
	微生物試験		
	セラミックス試験		
	熱勘定試験		
5　機械金属工業	精密測定		
	機械器具の検査及び試験		
	金属試験		
	電気試験		
6　包装材料	包装材料試験	48	63,360
7　繊維工業	繊維材料試験		
	編織試験		
	染色試験		
	整理仕上加工試験		
8　製紙工業	原材料試験	139	1,489,940
	紙質試験	511	1,321,800
	製紙及び紙加工試験	17	145,980
9　加工	塗装加工		
	木竹材加工		
10　設計及び調製	機械等の設計及び調製		
	繊維デザイン		
	商業及び工業デザイン		
11　写真及び複写			
12　成績書の複本		15	10,780
合　　計		6,516	4,479,080

(d) 浜松工業技術支援センターの依頼試験実績

		件数	金額(円)
1　分析	定性分析	1,858	8,474,990
	定量分析	246	2,314,960
2　工業用材料	材料強度試験	256	573,320
	長期性能試験	21,757	4,486,790
	特殊試験	152	1,207,810
3　木材工業	木材試験		
	塗料試験	9	13,770
	製品試験		
4　化学工業	金属表面処理試験	95	403,270
	プラスチック及びゴム試験		
	微生物試験		
	セラミック試験		
	熱勘定試験		
5　機械金属工業	精密測定		
	機械器具の検査及び試験		
	金属試験	168	731,860
	電気試験		
6　包装材料	包装材料試験		
7　繊維工業	繊維材料試験	1	3,510
	編織試験	79	257,430
	染色試験		
	整理仕上加工試験		
8　製紙工業	原材料試験		
	紙質試験		
	製紙及び紙加工試験		
9　加工	塗装加工		
	木竹材加工		
10　設計及び調製	機械等の設計及び調製	297	614,710
	繊維デザイン		
	商業及び工業デザイン		
11　写真及び複写		69	29,790
12　成績書の複本			
合　　計		24,987	19,112,210

（ウ）機器使用等

a　工業技術研究所及び工業技術支援センターの機器使用等の実績合計

		時間数	金額(円)
機器使用		76,296	78,691,540
研修施設等使用	研修施設	375	218,250
	無響室	161	773,850
	電波暗室	650	4,987,250
	車載機器用ＥＭＳ電波暗室	79	484,050
	車載機器用ＥＭＩ電波暗室	64	391,850
	ＢＣＩ試験室（シールドルーム）	47	225,600
	車載機器試験用シールドルーム	130	696,800
合　　計		77,802	86,469,190

(a) 工業技術研究所の機器使用等の実績

		時間数	金額(円)
機器使用		27,281	20,160,550
研修施設等使用	研修施設	48	9,900
	無響室	49	181,300
合　　計		27,378	20,351,750

(b) 沼津工業技術支援センターの機器使用等の実績

	時間数	金額(円)
機器使用	3,710	8,493,180
研修施設	50	56,250
合　　計	3,760	8,549,430

(c) 富士工業技術支援センターの機器使用等の実績

	時間数	金額(円)
機器使用	6,873	10,291,890
研修施設	206	52,100
合　　計	7,079	10,343,990

(d) 浜松工業技術支援センターの機器使用等の実績

		時間数	金額(円)
機器使用		38,432	39,745,920
研修施設等使用	研修施設	71	100,000
	無響室	112	592,550
	電波暗室	650	4,987,250
	車載機器用ＥＭＳ電波暗室	79	484,050
	車載機器用ＥＭＩ電波暗室	64	391,850
	ＢＣＩ試験室（シールドルーム）	47	225,600
	車載機器試験用シールドルーム	130	696,800
合　　計		39,585	47,224,020

（エ）　研究会の育成

a　工業技術研究所

研　究　会　名	発 足 年 月	会 員 数
静岡県プレス技術研究会	昭和４４年　６月	３６社
静岡県食品技術研究会	昭和４７年１２月	１１７社･個人・団体
静岡県資源環境技術研究会	昭和４４年１１月	７９社・人
静岡県プラスチックス技術研究会	平成　２年　６月	３６社
静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会	平成　７年　５月	３９社

b　沼津工業技術支援センター

研　究　会　名	発 足 年 月	会 員 数
静岡県東部精密技術研究会	平成　２年　６月	３６社・団体
静岡県バイオテクノロジー研究会	昭和５９年　９月	２８社

c　富士工業技術支援センター

研　究　会　名	発 足 年 月	会 員 数
静岡県紙パ技術研究フォーラム	昭和６２年　９月	１０社

d　浜松工業技術支援センター

研　究　会　名	発 足 年 月	会 員 数
浜松機械技術研究会	昭和３９年１２月	６０社
表面技術研究会	昭和６０年　８月	３８社
浜松繊維加工技術研究会	平成　７年　７月	１３社
浜松品質工学研究会	平成　９年　３月	２５人
浜松ＥＭＣ研究会	平成２０年　６月	２１社
浜松地域ＣＦＲＰ事業化研究会	平成２１年　４月	４９社
はままつ超ハイテン研究会	平成２８年　６月	１４社

（オ）研修生の受入れ

a　工業技術研究所及び工業技術支援センターの合計

単位：人

	一般研修	就業体験研修	連携大学院
工業技術研究所	8	2	0
沼津工業技術支援センター	2	0	0
富士工業技術支援センター	4	2	0
浜松工業技術支援センター	１６	0	0
合計	３０	4	0

（ａ）工業技術研究所の研修生

一般研修			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
食品科	分光測色計による液体の色の評価及び関連機器の取り扱い方法	令和元年７月 29 日～ 令和２年３月 31 日	県内大学 １人
食品科	LA-950V2（堀場製作所製）を使用した粒度分布の測定	令和元年７月 18 日～ 令和２年３月 31 日	県内大学 １人
食品科	松葉微生物の性能分析	令和元年７月１日～ 令和２年３月２日	県内高校 ４人
食品科	粒度分布測定装置を用いたエマルション状食品の粒度測定	令和元年８月５日～ 令和２年３月 31 日	県内大学 １人
食品科	水産物の加工処理及び成分解析に関する研究	令和元年 11 月 18 日～ 令和２年３月 31 日	県内大学 ２人
就業体験研修（インターンシップ）			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
食品科	工業技術研究所・食品科の業務実習	令和元年８月 26 日～ 令和元年８月 30 日	県外大学 １人
食品科	工業技術研究所・食品科の業務実習	令和元年８月 26 日～ 令和元年８月 30 日	県内大学 １人
連携大学院関係			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			

（ｂ）沼津工業技術支援センターの研修生

一般研修			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
機械電子科	三次元測定機の測定原理と測定方法	令和元年 11 月 19 日～ 令和２年１月 31 日	県内企業 １人
機械電子科	鍛造加工シミュレーションにおけるパラメータ設定、操作・実施	令和元年９月 17 日～ 令和２年２月 28 日	県内企業 １人
就業体験研修（インターンシップ）			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			
連携大学院関係			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			

（ｃ）富士工業技術支援センターの研修生

一般研修			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
製紙科	静岡県紙パルプ技術協会中小企業技術者研修（製紙工学課程・中期）	令和元年７月 10 日～ 令和元年７月 12 日	県内企業 ４人
就業体験研修（インターンシップ）			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
製紙科 ＣＮＦ科 機械電子科 技術支援担当	センター・各科の業務	令和元年９月３日～ 令和元年９月５日	県内高校 ２人
連携大学院関係			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			

（ｄ）浜松工業技術支援センターの研修生

一般研修			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
材料科	フラクトグラフィー	令和元年７月 20 日～ 令和元年 12 月 27 日	県内大学 10 人
材料科	機器分析による材料評価解析技術	令和２年１月 28 日～ 令和２年３月 18 日	県内企業 ６人
就業体験研修（インターンシップ）			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			
連携大学院関係			
担当部門	研修項目	研修期間	研修生氏名
受入れなし			

ウ　技術情報提供

（ア）研究報告関係

研究成果事例集	展示会での閲覧及び協議会等で配布 ホームページに掲載
工業技術研究所研究報告	1,300部

（イ）研究発表会関係

研究発表会	工業技術研究所	開催年月日 （延期後の開催日）	R2.3.13(延期) (R2.8.21)
		参加者数	―
		要旨集	―
	沼津工業技術支援センター	開催年月日	―
		参加者数	―
		要旨集	―
	富士工業技術支援センター	開催年月日 （延期後の開催日）	R2.3.19(延期) (R2.10.28)
		参加者数	―
		要旨集	―
	浜松工業技術支援センター	開催年月日	R1.11.14
		参加者数	177人
		要旨集	―

※　工業技術研究所及び富士工業技術支援センターについては、新型コロナウイルスの影響により、３月に予定していた研究発表会を延期とした。

（ａ）浜松工業技術支援センター研究発表会の実績（令和元年11月14日）

テーマ名	発表者
熱変形を考慮したインホイールモータカバーの設計	針幸達也
恒温槽内の非接触三次元形状及びひずみ測定について	長津義之
非接触ひずみ計測による事例紹介 －アルミ合金の引張特性の評価 －	岩澤　秀
新しく導入した共焦点顕微鏡による非接触表面粗さ測定	中野雅晴
ハイサイクル成形に対応したCFRTP成形材の開発について	森田達弥
透明プラスチックCOPのレーザー溶着	小松　剛
マイクロチップレーザーによるレーザーピーンフォーミング	鷺坂芳弘
近赤外光を用いた不透明樹脂の光学異方性の可視化	太田幸宏
めっき等金属表面処理品の腐食・変色原因解析事例の紹介	吉岡正行
電子顕微鏡による微細構造観察のための最終仕上げ方法について	望月智文
Ｘ線残留応力装置を用いた加工誘起マルテンサイト測定の検討	伊藤芳典
鉄鋼材料の残留応力に及ぼす熱処理の影響	小粥基晴

（ウ）研究所情報等の提供

刊行物名	令和元年度	
	発行部数 （部）	ホームページ 掲載
工業技術研究所各科紹介チラシ	－	○
沼津工業技術支援センターニュース	－	○
富士工業技術支援センターニュース	500	○
浜松工業技術支援センターニュース	2,000	○
静岡県工業技術情報	－	○
静岡県工業技術研究所年報	－	○
静岡県工業技術研究所メールマガジン （2週間に１回発行）	20回	－

（エ）研究所の事業広報等

見学の受入	工業技術研究所		219人
	沼津工業技術支援センター		56人
	富士工業技術支援センター		330人
	浜松工業技術支援センター		440人
「県民の日」 研究所フェア 及び センターフェア	工業技術研究所	開催年月日	R1.8.2
		参加者数	400人
	沼津工業技術 支援センター	開催年月日	R1.8.2
		参加者数	175人
	富士工業技術 支援センター	開催年月日	R1.8.2
		参加者数	150人
	浜松工業技術 支援センター	開催年月日	R1.8.2
		参加者数	252人

※ 令和２年度の研究所フェア及びセンターフェアについては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、開催を中止した。

（オ）　講習会等

ａ　工業技術研究所及び工業技術支援センターの実績合計

	実施回数	参加者数
工業技術研究所	２４	８８７
沼津工業技術支援センター	１０	４１８
富士工業技術支援センター	１２	４８４
浜松工業技術支援センター	２６	８８９
合計	７２	２，６７８

（ａ）工業技術研究所の実績

年月日	件　　名		会　　場	参加人数	共催等
H31.4.24	高分子材料分析技術講習会		工業技術研究所	17	静岡県プラスチックス技術研究会
R1.5.17	令和元年度静岡県プレス技術研究会総会講演会「世界の金型状況」		静岡県職員会館	29	静岡県プレス技術研究会
R1.5.30	ドイツにおける最新のレーザクラッディングと溶射技術		アクトシティ浜松コングレスセンター	40	光産業創成大学院大学、フラウンホーファー日本代表部、浜松地域イノベーション推進機構
R1.6.7	食品技術研修会	第259回	中島屋グランドホテル	78	静岡県食品技術研究会 静岡県食品産業協議会
R1.9.2		第260回	ホテルアソシア静岡	138	食品技術研究会 静岡大学食品･生物産業創出拠点
R1.11.27		第261回	プラサヴェルデ	71	食品技術研究会 食品産業協議会
R2.1.24		第262回	㈱アイエイアイ 有東木・山葵 ㈱ガイアフロー	32	食品技術研究会 食品産業協議会
R1.6.12	2019年度静岡県資源環境技術研究会見学会		浜松工業技術支援センター　他	30	静岡県資源環境技術研究会
R1.6.19	静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会講習会	第１回	工業技術研究所	29	静岡県ユニバーサルデザイン･工芸研究会
R1.9.25		第２回	工業技術研究所	15	
R1.12.4		第３回	静岡県男女共同参画センター	16	
R2.2.5		第４回	工業技術研究所	31	
R1.7.18	第８回排水処理技術セミナー		静岡県男女共同参画センター	56	静岡県資源環境技術研究会 静岡県環境保全協会 静岡市資源環境保全推進協力会

年月日	件　　名	会　　場	参加人数	共催等
R1.7.24	技術講演会「蛍光Ｘ線分析及び炭素・硫黄分析の実際」	工業技術研究所	29	静岡県プレス技術研究会 静岡県プラスチックス技術研究会
R1.8.5	協働ロボットセミナー	工業技術研究所	12	（株）特電
R1.9.3	次世代シークエンサー学習会	工業技術研究所	20	静岡県資源環境技術研究会
R1.10.31	静岡県プレス技術研究会発発足50周年記念講演会	工業技術研究所	45	静岡県プレス技術研究会
R1.11.4	静岡県資源環境技術研究会 50周年記念事業 記念講演会	クーポール会館	91	静岡県資源環境技術研究会 静岡化学工学懇話会、静岡県環境保全協会、静岡県環境ビジネス協議会、（一社）静岡県環境資源協会、（一社）静岡県計量協会環境計量証明部会
R1.11.7	微生物検査の基礎実習	静岡県工業技術研究所	17	食品技術研究会 食品産業協議会
R1.11.11	静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会　見学会	愛知県西垣林業㈱ ＴＯＴＯサニテクノ㈱	14	静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会
R1.12.5	第24回分析技術研修会	工業技術研究所	37	静岡県資源環境技術研究会 （一社）静岡県計量協会環境計量部会
R2.1.24	ＰＬＣプログラミングセミナー	工業技術研究所	15	
R2.1.27	「リモートメンテナンス」・「ＩｏＴを使用した生産管理」セミナー	工業技術研究所	15	
R2.2.19	初心者向けＩｏＴセミナー	工業技術研究所	10	
実施回数　２４　回			参加者数　８８７　人	

（ｂ）沼津工業技術支援センターの実績

<table>
<tr><th>年月日</th><th colspan="2">件　　名</th><th>会　　場</th><th>参加人数</th><th>共催等</th></tr>
<tr><td>R1.5.8</td><td colspan="2">静岡県東部精密技術研究会第30回総会　・特別講演会</td><td>三島商工会議所</td><td>54</td><td>静岡県東部精密技術研究会
沼津センター協議会</td></tr>
<tr><td>R1.6.20</td><td colspan="2">静岡県バイオテクノロジー研究会　特別講演会</td><td>グランディエール　ブケ・トーカイ</td><td>26</td><td>静岡県バイオテクノロジー研究会</td></tr>
<tr><td>R1.7.17－
R1.7.19</td><td colspan="2">酒造研修</td><td>沼津工業技術支援センター
中島屋グランドホテル</td><td>100</td><td>静岡県酒造組合
静岡県杜氏研究会
沼津センター協議会</td></tr>
<tr><td>R1.7.19</td><td rowspan="3">静岡県東部精密技術研究会研究会</td><td>第85回</td><td rowspan="3">沼津工業技術支援センター</td><td>58</td><td rowspan="3">静岡県東部精密技術研究会
沼津センター協議会</td></tr>
<tr><td>R1.10.2</td><td>第86回</td><td>47</td></tr>
<tr><td>R2.1.24</td><td>第87回</td><td>45</td></tr>
<tr><td>R1.10.9</td><td colspan="2">静岡県バイオテクノロジー研究会　見学会</td><td>ガイアフローディスティリング（株）
サッポロビール（株）静岡工場</td><td>14</td><td>静岡県バイオテクノロジー研究会</td></tr>
<tr><td>R1.11.19</td><td colspan="2">勉強会「ＡＩ＆ＩｏＴの利活用とローカル５Ｇ」</td><td>沼津工業技術支援センター</td><td>20</td><td>沼津センター協議会</td></tr>
<tr><td>R1.12.11</td><td colspan="2">静岡県バイオテクノロジー研究会　企業発表会講演会</td><td>静岡県男女共同参画センター</td><td>21</td><td>静岡県バイオテクノロジー研究会</td></tr>
<tr><td>R2.1.27</td><td colspan="2">次世代ものづくり現場に必要な加工シミュレーション技術</td><td>沼津工業技術支援センター</td><td>33</td><td>沼津センター協議会</td></tr>
<tr><td colspan="4">実施回数　１０　回</td><td colspan="2">参加者数　４１８　人</td></tr>
</table>

（ｃ）富士工業技術支援センターの実績

<table>
<tr><th>年月日</th><th colspan="2">件　　名</th><th>会　　場</th><th>参加人数</th><th>共催等</th></tr>
<tr><td>R1.5.24</td><td colspan="2">ふじのくにＣＮＦ研究開発センターキックオフセミナー</td><td>富士工業技術支援センター</td><td>85</td><td></td></tr>
<tr><td>R1.5.31</td><td colspan="2" rowspan="2">静岡県紙パ技術研究フォーラム　技術勉強会</td><td rowspan="2">富士工業技術支援センター</td><td>13</td><td rowspan="2">静岡県紙パ技術研究フォーラム</td></tr>
<tr><td>R2.2.4</td><td>13</td></tr>
<tr><td>R1.6.5</td><td colspan="2">次世代ものづくりセミナー</td><td>富士工業技術支援センター</td><td>46</td><td>富士センター協議会機械・電子部会</td></tr>
<tr><td>R1.7.17</td><td rowspan="4">紙関連技術講演会</td><td>第１回</td><td rowspan="4">富士工業技術支援センター</td><td>49</td><td>(一社)静岡県紙パルプ技術協会
(一社)静岡県紙業協会</td></tr>
<tr><td>R1.9.11</td><td>第２回</td><td>54</td><td rowspan="3">(一社)静岡県紙パルプ技術協会</td></tr>
<tr><td>R1.11.27</td><td>第３回</td><td>49</td></tr>
<tr><td>R2.2.5</td><td>第４回</td><td>93</td></tr>
<tr><td>R1.11.7</td><td colspan="2">中小企業向けＡＩセミナー</td><td>富士工業技術支援センター</td><td>27</td><td>富士センター協議会機械・電子部会</td></tr>
<tr><td>R1.12.11</td><td colspan="2">富士センター協議会機械電子部会見学会</td><td>（株）関東精工</td><td>14</td><td>富士センター協議会機械・電子部会</td></tr>
<tr><td>R2.1.21</td><td colspan="2">次世代ものづくり講演会</td><td>富士工業技術支援センター</td><td>25</td><td>富士センター協議会機械・電子部会</td></tr>
<tr><td>R2.3.3-
R2.3.31</td><td colspan="2">ふじのくにＣＮＦプロジェクトＣＮＦ技術者研修</td><td>富士工業技術支援センター</td><td>16</td><td>富士センター協議会</td></tr>
<tr><td colspan="4">実施回数　１２回</td><td colspan="2">参加者数　４８４人</td></tr>
</table>

（ｄ）浜松工業技術支援センターの実績

年月日	件　　名	会　　場	参加人数	共催等
H31.4.19	浜松品質工学研究会定例会	浜松工業技術支援センター	12	浜松品質工学研究会
R1.5.24			15	
R1.6.17			10	
R1.7.22			15	
R1.8.23			15	
R1.9.20			10	
R1.10.21			9	
R1.11.18			12	
R1.12.16			15	
R2.1.20			10	
R2.2.21			9	
R1.5.22	中国軽量化技術交流会	浜松工業技術支援センター	27	浜松地域CFRP事業化研究会
R1.5.27	パラメータ設計入門講座	浜松工業技術支援センター	10	浜松品質工学研究会
R1.5.28	「浜松工技センター 令和元年デビュー試験機器の紹介」セミナー	浜松工業技術支援センター	34	浜松センター協議会 浜松機械技術研究会
R1.6.25	ノイズ対策セミナー	浜松工業技術支援センター	71	浜松センター協議会 浜松ＥＭＣ研究会
R1.6.26	浜松機械技術研究会特別講演会	ホテルクラウンパレス浜松	30	浜松機械技術研究会
R1.7.30	電子機器組立ての品質管理 －国際標準ＩＰＣ規格の解説－	浜松工業技術支援センター	54	浜松センター協議会 浜松機械技術研究会
R1.9.27	Ｘ線による非破壊検査セミナー	浜松工業技術支援センター	43	浜松センター協議会
R1.10.8	３次元構造解析シミュレーション（ＣＡＥ）セミナー 『ＳＯＬＩＤＷＯＲＫＳを利用したＣＡＥと強度試験の比較検討実習　～パスタブリッジ～』	浜松工業技術支援センター	24	浜松センター協議会
R1.10.11	2019年度浜松地域ＣＦＲＰ事業化研究会講演会	浜松工業技術支援センター	44	浜松地域ＣＦＲＰ事業化研究会
R1.10.29- R1.10.31	金属・樹脂部品等の材料解析セミナー 『金属組織観察や不具合解析のための試料断面作製方法』	浜松工業技術支援センター	42	浜松センター協議会

年月日	件　　名	会　　場	参加人数	共催等
R1.11.8	はままつ超ハイテン研究会講演会2019『超ハイテン材料の最新プレス成形技術と金型技術の未来』	静岡新聞ホール	152	はままつ超ハイテン研究会
R1.12.3	切削油剤の基礎	浜松工業技術支援センター	62	浜松機械技術研究会
R1.12.17	３Ｄプリンターの最新動向と今後の展開	浜松工業技術支援センター	85	浜松センター協議会
R2.2.6	非破壊計測セミナー 「計測用Ｘ線ＣＴの製造業への応用展開」	浜松工業技術支援センター	54	浜松センター協議会 浜松機械技術研究会
R2.2.19	浜松ＥＭＣ研究会定例会	浜松工業技術支援センター	25	浜松ＥＭＣ研究会
実施回数　２６　回			参加者数　８８９　人	

（カ）講師活動

ａ　工業技術研究所及び工業技術支援センターの合計

	活動回数	参加者数
工業技術研究所	２９	１，１２９
沼津工業技術支援センター	１１	６５１
富士工業技術支援センター	４	２２３
浜松工業技術支援センター	１４	５２５
合計	５８	２，５２８

（ａ）工業技術研究所の実績

年月日	講習会等の名称		会場	参加者数	主催	講師氏名
H31.4.11	ポリマーズ・イン・コンクリート委員会学習会		秋田大学東京サテライトオフィス	40	ポリマーズ・イン・コンクリート委員会	村松重緒
H31.4.17	社内研修会（手洗い及び衛生教育）		（株）市川園	23	（株）市川園	袴田雅俊
H31.4.17	人間工学専門家認定機構2019年度講演会		中央大学駿河台記念館	50	人間工学専門家認定機構	易　強
H31.4.24	高分子材料分析技術講習会		静岡県工業技術研究所	17	静岡県プラスチックス研究会 静岡県工業技術研究所	菅野尚子
R1.5.20	工業技術研究所沼津センター協議会第30回通常総会		沼津工業技術支援センター	14	沼津工業技術支援センター	赤堀　篤
R1.5.23	ＪＳＴ新技術説明会		ＪＳＴ東京本部	74	（国研）科学技術振興機構	櫻川智史
R1.5.23	鍍金技術講演会		名古屋市工業研究所	45	鍍金技術研究会	綿野哲寛
R1.6.19	静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会　講習会	第１回	工業技術研究所	29	静岡県ユニバーサルデザイン・工芸研究会	多々良哲也 長澤　正
R1.9.25		第２回		15		多々良哲也
R1.6.24	産総研コンソーシアム持続性木質資源工業技術研究会		産総研中部センター	150	産総研	櫻川智史
R1.6.25	食品加工製品の商品開発相談会 （育成型企業研究会カゴメ商品開発相談会）		工業技術研究所	32	（公財）静岡県産業振興財団フーズ・サイエンスセンター カゴメ（株）	渡瀬隆也
R1.7.23	衛生検査セミナーＥＩＫＥＮ 2019‘静岡’		パルシェ会議室	70	栄研化学（株）	袴田雅俊
R1.7.23	令和元年度第１回「ＣＮＦ技術講習会」		富士市交流センター	71	静岡県	石橋佳奈

<table>
<tr><th>年月日</th><th colspan="2">講習会等の名称</th><th>会場</th><th>参加者数</th><th>主催</th><th>講師氏名</th></tr>
<tr><td>R1.8.6</td><td rowspan="5">総合食品学講座</td><td>微生物検査技術Ⅰ</td><td rowspan="5">工業技術研究所</td><td>23</td><td rowspan="5">（公財）静岡県産業振興財団</td><td rowspan="5">山下里恵
渡瀬隆也
淺沼俊倫
松野正幸
三宅健司
袴田雅俊
石橋佳奈</td></tr>
<tr><td>R1.8.8</td><td>微生物検査技術Ⅱ</td><td>24</td></tr>
<tr><td>R1.8.28</td><td>食品の機器分析実習（ＧＣ，ＬＣ）</td><td>19</td></tr>
<tr><td>R1.10.1</td><td rowspan="2">小型食品加工機器実習</td><td>10</td></tr>
<tr><td>R1.10.3</td><td>8</td></tr>
<tr><td>R1.9.2</td><td colspan="2">シーズ&ニーズビジネスマッチング研究発表会
－食品・生物産業の付加価値創造－
（静岡県食品技術研究会第260 回例会・静岡大学食品・生物産業創出拠点第51 回研究会）</td><td>ホテルアソシア静岡</td><td>37</td><td>静岡県食品技術研究会
静岡大学食品・生物産業創出拠点
工業技術研究所
静岡県食品産業協議会</td><td>太田良和弘
室伏敬太</td></tr>
<tr><td>R1.9.18</td><td colspan="2">ワンコインセミナー</td><td>ウインクあいち</td><td>25</td><td>木材加工技術協会中部支部</td><td>渡邊雅之</td></tr>
<tr><td>R1.10.23</td><td colspan="2">2019年度地域産業活性化人材育成事業成果発表会</td><td>産業技術総合研究所</td><td>20</td><td>（国研）産業技術総合研究所</td><td>室伏敬太</td></tr>
<tr><td>R1.10.24</td><td colspan="2">６次産業化人材育成研修会加工機器実習</td><td>工業技術研究所</td><td>7</td><td>静岡県</td><td>渡瀬隆也
山下里恵
淺沼俊倫
松野正幸
三宅健司
袴田雅俊
石橋佳奈</td></tr>
<tr><td>R1.11.7</td><td colspan="2">微生物検査の基礎実習</td><td>工業技術研究所</td><td>17</td><td>食品技術研究会
工業技術研究所
食品産業協議会</td><td>袴田雅俊</td></tr>
<tr><td>R1.11.26</td><td colspan="2">2019年度静岡理工科大学地域創成フォーラム</td><td>ホテルグランパレス浜松</td><td>100</td><td>静岡理工科大学</td><td>志智　亘</td></tr>
<tr><td>R1.12.13</td><td colspan="2">第２回食品化学講座「静岡県特産品の食品加工」</td><td>信州大学</td><td>30</td><td>信州大学</td><td>渡瀬隆也</td></tr>
<tr><td>R1.12.19</td><td colspan="2">全学共通科目特別講義</td><td>静岡県立大学</td><td>60</td><td>静岡県立大学</td><td>渡瀬隆也</td></tr>
<tr><td>R2.1.27</td><td colspan="2">「リモートメンテナンス」・「ＩｏＴを使用した生産管理」セミナー</td><td>工業技術研究所</td><td>15</td><td>工業技術研究所</td><td>赤堀　篤</td></tr>
<tr><td>R2.1.28</td><td colspan="2">化粧品スキルアップセミナー</td><td>ペガサート会議室</td><td>94</td><td>静岡県</td><td>山下里恵</td></tr>
<tr><td>R2.2.19</td><td colspan="2">初心者向けＩｏＴセミナー</td><td>工業技術研究所</td><td>10</td><td>工業技術研究所</td><td>山口智之</td></tr>
<tr><td colspan="5">活動回数　２９　回</td><td colspan="2">参加者数　１，１２９　人</td></tr>
</table>

（ｂ）沼津工業技術支援センターの実績

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数	主催	講師氏名
R1.5.11	大人が学ぶ美味しい日本酒講座2019春	沼津工業技術支援センター	30	静岡朝日テレビカルチャー三島スクール	勝山　聡 鈴木雅博
R1.6.7	食品技術研修会（静岡県食品技術研究会第259回例会）	中島屋グランドホテル	78	静岡県食品技術研究会 静岡県食品産業協議会	勝山　聡
R1.6.29	しずおか日本酒トレイン（静岡デスティネーションキャンペーン）	ＪＲ東海・東海道本線三島～浜松駅間	98	静岡県大型観光キャンペーン推進協議会 東海旅客鉄道（株）	勝山　聡 鈴木雅博
R1.7.17- R1.7.19	酒造研修	沼津工業技術支援センター 中島屋グランドホテル	100	静岡県酒造組合	岩原健二 勝山　聡 鈴木雅博 黒瀬智英子 望月玲於
R1.9.5	酵母遺伝学フォーラム第52回研究報告会	静岡市清水文化会館マリナート	235	酵母遺伝学フォーラム	勝山　聡
R1.9.6	静岡県成長産業分野人材育成支援事業　幾何公差（入門編）	沼津工業技術支援センター	8	沼津技術専門校	本多正計
R1.9.20	静岡県成長産業分野人材育成支援事業　幾何公差（実践活用編）	沼津工業技術支援センター	7	沼津技術専門校	本多正計 竹居　翼 是永宗祐 松下五樹
R1.10.17	トライボコーティング技術研究会第３回研究会	沼津工業技術支援センター	7	トライボコーティング技術研究会	三浦　清 是永宗祐
R1.12.11	静岡県バイオテクノロジー研究会　企業発表会講演会	静岡県男女共同参画センター	21	静岡県バイオテクノロジー研究会	黒瀬智英子 望月玲於
R2.1.27	次世代ものづくり現場に必要な加工シミュレーション技術	沼津工業技術支援センター	33	沼津工業技術支援センター 沼津センター協議会	松下五樹
R2.2.25	第５回静岡クラフトビールの会	静岡パルシェ	34	静岡クラフトビールの会	勝山　聡 鈴木雅博 望月玲於
活動回数　１１　回			参加者数　６５１　人		

（ｃ）富士工業技術支援センターの実績

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数	主催	講師氏名
R1.7.11- R1.7.12	中小企業中期技術者研修実習	富士工業技術支援センター	4	(一社)静岡県紙パルプ技術協会	齊藤和明 齊藤将人
R1.10.11	浜松地域ＣＦＲＰ事業化研究会講演会	浜松工業技術支援センター	40	浜松地域ＣＦＲＰ事業化研究会	高木　誠
R1.10.18	ふじのくにＣＮＦプロジェクト第２回技術講習会	工業技術研究所	93	ふじのくにＣＮＦフォーラム	佐野禎彦
R2.1.22	ふじのくにＣＮＦプロジェクト第３回技術講習会	ホテルヴィラくれたけ	86	ふじのくにＣＮＦフォーラム	佐野禎彦
活動回数　４　回			参加者数　２２３　人		

（ｄ）浜松工業技術支援センターの実績

年月日	講習会等の名称	会場	参加者数	主催	講師氏名
R1.5.27	パラメータ設計入門講座	浜松工業技術支援センター	9	浜松品質工学研究会	針幸達也
R1.5.31	バイオミメティクス研究会	サンシャイン会議室	130	信州大学繊維学部山口研究室	田光伸也
R1.6.13	経営システム工学	静岡大学	50	静岡大学	針幸達也
R1.7.18	製造中核人材育成講座	浜松工業技術支援センター	34	（公財）浜松地域イノベーション推進機構	伊藤芳典 鷺坂芳弘
R1.7.23	第２回ＥＭＣ基礎講座	浜松工業技術支援センター	35	（公財）浜松地域イノベーション推進機構	山田浩文
R1.9.17-R1.9.18	レーザー中核人材育成講座	浜松工業技術支援センター	23	光産業創成大学院大学	小松　剛 鷺坂芳弘 太田幸宏 中野雅晴
R1.10.17-R1.10.18			23		
R1.10.24-R1.10.25			23		
R1.9.18	成長分野人材育成支援事業講習会「３Ｄ－ＣＡＤ＆３Ｄプリンター活用法」	浜松工業技術センター	3	浜松技術専門校	伊藤芳典
R1.9.20	成長分野人材育成支援事業講習会「チタンとその加工技術」	浜松技術専門校	3	浜松技術専門校	植松俊明
R1.9.26	成長分野人材育成支援事業講習会「ＴＩＧ溶接と溶接部の試験・検査」	浜松工業技術センター	4	浜松技術専門校	伊藤芳典
R1.9.30	ＭＴシステム入門講座	浜松工業技術支援センター	15	浜松品質工学研究会	針幸達也
R1.11.7	鍍金組合工場見学会	ＭＲＪミュージアム ユケン工業株式会社	32	浜松鍍金工業協同組合	田光伸也 望月智文
R1.11.26	地域創成フォーラム	クラウンパレスホテル浜松	141	学校法人静岡理工科大学	針幸達也
活動回数　１４　回			参加者数　５２５　人		

（キ）　委員派遣

ａ　工業技術研究所及び工業技術支援センターの実績合計

	派遣回数	延べ派遣者数
工業技術研究所	７０	７４
沼津工業技術支援センター	４３	６０
富士工業技術支援センター	４７	５０
浜松工業技術支援センター	６６	６６
合計	２２６	２５０

（ａ）工業技術研究所の実績

年月日	委員会等の名称	会　　場	主　　催	派遣者氏名
H31.4.12	中部地域出先機関連絡会	藤枝総合庁舎	静岡県	望月一男
H31.4.23	静岡市地域経済牽引事業促進協議会	静岡市役所	静岡市	望月一男
H31.4.23	静岡地域コーディネータ会議	静岡市産学交流センター	静岡産業振興協会	櫻川智史
R1.6.18				
R1.7.30		（株）小糸製作所		
R1.10.21		静岡市産学交流センター		
R1.5.8	中部地域商工行政推進協議会	静岡県産業経済会館	地域商工行政推進協議会	望月一男
R1.5.15	新成長産業戦略的育成事業事業推進委員会	静岡県産業経済会館	静岡県	望月一男
R2.3.24				
R1.5.15	デザイン研修会等開催事業業務企画提案審査委員会	県庁	静岡県	田中伸佳
R1.5.27	経営革新計画促進事業費補助金審査会	静岡県産業経済会館	静岡県	望月一男
R1.5.28				
R1.6.18				
R1.6.19				望月一男 櫻川智史
R1.10.4				望月一男
R1.10.7				
R1.5.27	技能検定	労政会館	静岡県職業能力開発協会	渡邊雅之
R1.6.4				

年月日	委員会等の名称	会　　場	主　　催	派遣者氏名
R1.5.28	（一社）日本塗料検査協会委員会	恵比寿ガーデンプレイス	（一社）日本塗料検査協会	渡邊雅之
R1.5.31 R1.6.13	静岡市産学委託事業選考審査会	静岡市産学交流センター	静岡産業振興協会	櫻川智史
R1.6.3	食品開発助成審査会	静岡県産業経済会館	静岡県	櫻川智史 田中伸佳
R1.6.3	化粧品等研究開発推進事業審査委員会	静岡県産業経済会館	（公財）静岡県産業振興財団	田中伸佳
R1.6.5	ＫＡＧＵメッセ2018審査会	ツインメッセ静岡	静岡県家具工業組合	多々良哲也
R1.6.7	静岡県食品産業協議会総会	中島屋グランドホテル	静岡県食品産業協議会	望月一男
R1.6.7	新産業開発振興機構総会	清水テルサ	新産業開発振興機構	櫻川智史
R1.6.10 R1.6.11 R1.8.7 R1.8.9 R2.3.12	新成長産業戦略的育成事業助成金審査委員会	静岡県産業経済会館	（公財）静岡県産業振興財団	望月一男
R1.6.11 R1.10.17	ものづくり・商業・サービス経営力向上支援補助金地域採択審査委員会	静岡県産業経済会館	静岡県中小企業団体中央会	望月一男
R1.6.18 R1.12.17	静岡市産学交流センター運営委員会	静岡市産学交流センター	静岡産業振興協会	櫻川智史
R1.6.19	静岡県中小企業団体中央会総会	ホテルセンチュリー静岡	静岡県中小企業団体中央会	望月一男
R1.6.26	農業ロボット開発事業費補助金審査委員会	県庁	静岡県	望月一男
R1.7.6	噴霧塗装技能検定	（株）丸山コーポレーション	静岡県職業能力開発協会	渡邊雅之
R1.7.30 R1.12.17	富士宮市農林漁業再生可能エネルギー活用協議会 第１回検討委員会	富士宮市役所	富士宮市農林漁業再生可能エネルギー活用協議会	太田良和弘
R1.8.2-4	金属塗装技能検定	県立清水技術専門校	静岡県職業能力開発協会	渡邊雅之
R1.8.6 R1.10.15	ＩＳＯ／ＴＣ 213グループＣ　ＪＩＳ原案作成委員会	日本規格協会	（一社）日本規格協会	柳原　亘
R1.8.9 R2.3.12	次世代自動車技術革新対応促進助成事業審査委員会	静岡県産業経済会館	（公財）静岡県産業振興財団	望月一男

年月日	委員会等の名称	会　　場	主　　催	派遣者氏名
R1.8.23	ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金情報連絡会議	浮月楼	静岡県中小企業団体中央会	望月一男
R1.8.30 R1.9.24	2018グッドデザインしずおか審査会	県庁	静岡県	望月一男
R1.9.6	静岡県科学技術振興表彰選考委員会	県庁	静岡県	望月一男
R1.9.19 R1.10.23 R2.3.5	経営革新計画承認審査	県庁	静岡県	櫻川智史
R1.9.22	介護ロボットのニーズ・シーズ連携協調協議会	静岡県作業療法士会事務局	静岡県作業療法士会	易　強
R1.10.15 R1.11.7 R1.12.5 R2.1.30	フーズ・サイエンスヒルズプロジェクト戦略検討委員会	浮月楼	静岡県	望月一男
R1.10.17	マリンオープンイノベーションプロジェクト戦略推進委員会	ホテルアソシア静岡	静岡県	望月一男
R1.10.18	発明くふう展審査	静岡県産業経済会館	（一社）静岡県発明協会	綿野哲寛 大賀久美
R1.10.30	可能性調査審査会	（公財）静岡県産業振興財団	（一社）ふじのくに医療城下町推進機構	田中伸佳
R1.11.8	静岡県資源環境技術研究会50周年記念事業	クーポール会館	静岡県資源環境技術研究会	望月一男 櫻川智史
R1.11.11	2018グッドデザインしずおか表彰式及び意見交換会		静岡県	望月一男
R1.11.21 R2.3.12	マリンオープンイノベーション事業化促進事業費補助金審査委員会	県庁	静岡県	田中伸佳
R1.11.24	介護ロボットのニーズ・シーズ連携協調協議会	静岡県作業療法士会事務局	静岡県作業療法士会	易　強
R1.12.4	健康食ビジネスモデル創出業務審査会	県庁		望月一男
R1.12.14	中部支部運営委員会	三重大学	日本食品工学会	渡瀬隆也
R1.12.17	令和元年度 総合食品学講座 事業推進 委員会	静岡県産業経済会館	（公財）静岡県産業振興財団	山下里恵

年月日	委員会等の名称	会　　場	主　　催	派遣者氏名
R2.2.5	静岡県創エネ・蓄エネ技術開発推進協議会　ワーキンググループ報告会	静岡県男女共同参画センター	静岡県	太田良和弘
R2.2.18	静岡市福祉用具普及連絡会	地域リハビリテーション推進センター	静岡市保健福祉局福祉部地域リハビリテーション推進センター	多々良哲也
派遣回数　７０　回			派遣人数（延べ）　７４　人	

（ｂ）沼津工業技術支援センターの実績

年月日	委員会等の名称	会　　場	主　　催	派遣者氏名
H31.4.16	静岡県東部精密技術研究会役員会	沼津工業高等専門学校	静岡県東部精密技術研究会	三浦　清 本多正計
H31.4.18- R2.3.31	静岡県創業者育成施設入居審査委員会委員		静岡県	大川勝正
H31.4.24- H31.4.26	平成30酒造年度全国新酒鑑評会審査委員会	（独）酒類総合研究所	（独）酒類総合研究所	勝山　聡
R1.5.7	地域商工行政推進協議会	三島商工会議所	静岡県	大川勝正
R1.5.8	静岡県東部精密技術研究会第30回総会	三島商工会議所	静岡県東部精密技術研究会	三浦　清 本多正計
R1.5.14- R1.5.16	SAKE　COMPETITON　2019	東京都立産業貿易センター	SAKE　COMPETITON実行委員会	勝山　聡
R1.5.15	富士山麓産業支援ネットワーク会議	静岡県医療健康産業研究開発センター	（公財）ふじのくに医療城下町推進機構ファルマバレーセンター	飯塚千佳世
R1.6.19				
R1.10.30				
R1.12.6				
R1.5.21	静岡県東部地域技術振興協議会	プラサヴェルデ	静岡県東部地域技術振興協議会	大川勝正
R1.5.28	静岡県誉富士普及推進会議幹事会	（書面）	静岡県誉富士普及推進会議幹事会	大川勝正
R1.6.10	富士山麓アカデミック&サイエンスフェア実行委員会	静岡県立大学	富士山麓アカデミック&サイエンスフェア実行委員会	飯塚千佳世
R1.7.22		常葉大学草薙キャンパス		
R1.9.2				
R1.10.21				
R1.11.12		プラサヴェルデ		
R1.6.13	東海酒類研究会役員会	三重県酒造組合	東海酒類研究会	勝山　聡
R1.6.18	静岡化学工学懇話会　役員会　総会	静岡ガス（株）	静岡化学工学懇話会	三浦　清
R1.7.1- R2.2.28	「富士山麓から医療機器開発へ」ふじのくに医療機器産業活性化推進事業支援コーディネータ	ファルマバレーセンター	（公財）ふじのくに医療城下町推進機構	本多正計

年月日	委員会等の名称	会　　場	主　　催	派遣者氏名
R1.7.24	静岡県東部地域技術振興協議会	沼津市民文化センター	静岡県東部地域技術振興協議会	大川勝正
R1.8.6	西部地区のみきり	醍醐荘	静岡県酒造組合	勝山　聡 黒瀬智英子
R1.8.27	東部地区のみきり	沼津工業技術支援センター	静岡県酒造組合	勝山　聡 鈴木雅博 黒瀬智英子
R1.9.6	静岡県科学技術表彰選考委員会	県庁	静岡県	大川勝正
R1.9.26	ぬまづ技能マイスター及びぬまづＩＴマイスター認定審査会	沼津商工会議所	沼津商工会議所	大川勝正
R1.9.27	東海酒類研究会総会	あいち産業科学技術総合センター 食品工業技術センター	東海酒類研究会	勝山　聡
R1.9.30	令和元年度名古屋国税局酒類鑑評会品質評価会	名古屋国税局鑑定官室	名古屋国税局	黒瀬智英子
R1.10.2				鈴木雅博
R1.10.3				勝山　聡
R1.10.18	全国酒造技術指導機関合同会議	中央合同庁舎第４号館	国税庁	勝山　聡
R1.11.6	令和元年度名古屋国税局酒類鑑評会製造技術研究会	名古屋国税局鑑定官室	名古屋国税局	勝山　聡 鈴木雅博 黒瀬智英子
R1.11.26	沼津工業高等専門学校運営諮問会議	沼津工業高等専門学校	沼津工業高等専門学校	大川勝正
R1.11.27	富士山麓アカデミック&サイエンスフェア 2019	プラサヴェルデ	富士山麓アカデミック&サイエンスフェア実行委員会	飯塚千佳世
R2.2- R2.3.31	型技術ワークショップ実行委員	（書面）	（一社） 型技術協会	大川勝正 本多正計
R2.2.17- R2.2.18	令和元年度名古屋国税局ビール等研究会	名古屋国税局鑑定官室	名古屋国税局	勝山　聡
R2.2.26	静岡県創業者育成施設複数室使用承認に係るヒアリング	沼津インキュベートセンター	静岡県	三浦　清 飯塚千佳世
R2.2.27	令和元事務年度全国市販酒類調査品質評価会	名古屋国税局鑑定官室	名古屋国税局	黒瀬智英子
R2.2.28				鈴木雅博

年月日	委員会等の名称	会　　場	主　　催	派遣者氏名
R2.3.6	静岡県杜氏研究会新酒研究会	もくせい会館	静岡県杜氏研究会	勝山　聡 鈴木雅博
R2.3.11	愛知県清酒きき酒研究会	あいち産業科学技術総合センター 食品工業技術センター	愛知県酒造組合	勝山　聡
R2.3.12	静岡県清酒鑑評会	沼津工業技術支援センター	静岡県酒造組合	大川勝正 勝山　聡 鈴木雅博 黒瀬智英子
R2.3.17	令和元酒造年度名古屋国税局新酒持寄り相談会	名古屋国税局鑑定官室	名古屋国税局	勝山　聡 鈴木雅博
R2.3.26	静岡県清酒鑑評会表彰式	もくせい会館	静岡県酒造組合	大川勝正 勝山　聡 鈴木雅博 黒瀬智英子
派遣回数　４３　回			派遣人数（延べ）　６０　人	

（ｃ）富士工業技術支援センターの実績

年月日	委員会等の名称		会　　場	主　　催	派遣者氏名
H31.4.17	静岡県紙パルプ技術協会運営委員会		ホテルグランド富士	（一社）静岡県紙パルプ技術協会	佐野禎彦
H31.4.24	岳南地域地下水利用対策協議会委員・幹事合同会議		富士市役所	岳南地域地下水利用対策協議会	佐野禎彦
R1.5.30			ふじさんめっせ		飯野　修
R1.5.10	紙パルプ技術協会木材科学委員会		紙パルプ会館	紙パルプ技術協会	佐野禎彦
R1.9.13					
R1.5.15	富士山麓産業支援ネットワーク会議	第１回	静岡県医療健康産業研究開発センター	（公財）ふじのくに医療城下町推進機構ファルマバレーセンター	本間信行
R1.6.19		第２回			
R1.12.6		第４回			
R1.5.15	静岡県紙パルプ技術協会理事会		ホテルグランド富士	（一社）静岡県紙パルプ技術協会	佐野禎彦
R1.12.4					
R2.3.11	静岡県紙パルプ技術協会理事会（書面）				
R1.5.31	機能紙研究会 理事会		第一セントラルビル１号館（岡山市）	特定非営利活動法人機能紙研究会	佐野禎彦
R1.5.7	東部地域商工行政推進協議会		三島商工会議所	静岡県	佐野禎彦
R1.5.9	富士山麓医療関連機器製造業者等交流会運営会議	第１回	富士市役所	富士山麓医療関連機器製造業者等交流会	飯野　修
R1.12.10		第３回	富士市交流センター		
R2.3.13		第４回	ロゼシアター		
R1.6.7	富士市立博物館協議会		富士山かぐや姫ミュージアム	富士市立博物館	佐野禎彦
R1.11.13					
R2.2.20					
R1.6.10	富士山麓アカデミック＆サイエンスフェア2018第６回実行委員会		静岡県立大学	富士山麓アカデミック＆サイエンスフェア2018実行委員会	本間信行
R1.6.10	富士山麓アカデミック＆サイエンスフェア2019実行委員会	第１回	静岡県立大学	富士山麓アカデミック＆サイエンスフェア2019実行委員会	本間信行
R1.7.22		第２回	常葉大学静岡草薙キャンパス		
R1.9.2		第３回			
R1.10.21		第４回			
R1.11.12		第５回	コンベンションぬまづ		

年月日	委員会等の名称		会　　場	主　　催	派遣者氏名
R1.6.11	ＣＮＦ活用試作品開発事業費補助金に係る審査委員会		県庁	静岡県	佐野禎彦
R1.6.13	富士ブランド推進会議	第１回	富士商工会議所	富士商工会議所	佐野禎彦
R1.8.8		第２回			杉本芳邦
R1.6.21	富士市工業振興会議		富士市役所	富士市	佐野禎彦
R1.12.3					
R1.6.24	「紙パルプの技術」編集委員会	第１回	ホテルグランド富士	（一社）静岡県紙パルプ技術協会	佐野禎彦 杉本芳邦
R1.10.3		第２回			杉本芳邦
R2.1.8		第３回			佐野禎彦 杉本芳邦
R2.3.4		第４回			杉本芳邦
R1.6.27	第６回富士山紙フェア実行委員会	第１回	富士商工会議所	富士山紙フェア実行委員会	佐野禎彦
R1.9.26		第２回			飯野　修
R2.1.29		第３回			本間信行
R1.8.8	「富士ブランド認定品」評価会		富士商工会議所	富士商工会議所	杉本芳邦
R1.9.6	県科学技術振興表彰審査会		県庁	静岡県	佐野禎彦
R1.9.12	富士市ＣＮＦ関連産業推進懇話会		富士市役所	富士市	佐野禎彦
R1.9.13	美しい“ふじのくに”まち・ひと・しごと創生県民会議		みしまプラザホテル	静岡県	吉田光廣
R1.11.20- R1.11.21	第58回機能紙研究会		高知商工会館	特定非営利法人機能紙研究会	佐野禎彦 深沢博之
R1.11.21	県東部機関外部資金事務担当者情報連絡会		東海大学清水キャンパス	県東部機関外部資金事務担当者情報連絡会	本間信行
R1.11.27	富士山麓アカデミック＆サイエンスフェア2019優秀ポスター審査		コンベンションぬまづ	富士山麓アカデミック＆サイエンスフェア2019実行委員会	本間信行
R1.12.3	富士の特産品（紙・茶・桧）連携推進会議		富士市役所	富士市	佐野禎彦
R2.1.27	木材学会パルプ紙研究会		東京大学農学部	木材学会パルプ紙研究会	深沢博之
R2.2- R2.3.31	型技術ワークショップ2020実行委員		（書面）	（一社） 型技術協会	真野　毅
派遣回数　４６　回				派遣人数（延べ）　４９　人	

（ｄ）浜松工業技術支援センターの実績

年月日	委員会等の名称		会　　場	主　　催	派遣者氏名
H31.4.9	電線総合技術センター適合性評価委員会	第21回	電線総合技術センター	（一財）電線総合技術センター	松田　稔
H31.4.19		第22回			
R1.5.15		第23回			
R1.5.24		第24回			
R1.6.21		第25回			
R1.7.19		第26回			
R1.8.8		第27回			
R1.8.23		第28回			
R1.9.10		第29回			
R1.9.20		第30回			
R1.10.7		第31回			
R1.10.21		第32回			
R1.11.8		第33回			
R1.11.13		第34回			
R1.11.18		第35回			
R1.12.9		第36回			
R1.12.20		第37回			
R2.1.24		第38回			
R2.3.19		第40回			
H31.4.16	ＨＦＰ定例会	第１回	浜松商工会議所会館	（一社）静岡県繊維協会	鈴木一之
R1.5.21		第２回			
R1.6.18		第３回			
R1.7.16		第４回			
R1.9.17		第６回			
R1.10.15		第７回			
R1.11.12		第８回			
H31.4.18	塑性加工学会会誌編集委員会		塑性加工学会	（一社）塑性加工学会	鷺坂芳弘
R1.6.24					
R1.8.30					
R1.12.13					
R2.1.31					
H31.4.23	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点　事業運営委員会ワーキング会議	第66回	浜松医科大学	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点	小松　剛
R1.6.25		第67回			
R1.11.12		第68回			
R1.9.10		第69回			
R2.1.21		第70回			
R2.3.10		第71回			

年月日	委員会等の名称	会　　場	主　　催	派遣者氏名
R1.5.15	先端精密技術研究会総会	呉竹荘	先端精密技術研究会	渥美博安
R1.5.23	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点平成31年度第１回事業運営委員会	浜松商工会議所会館	はままつ次世代光・健康医療産業創出拠点	小松　剛
R1.6.13	レーザー中核人材育成講座企画委員会	静岡県浜松総合庁舎	光産業創成大学院大学	鷺坂芳弘
R1.10.29				
R1.6.18	はままつ知財研究会総会	アクトシティ浜松	はままつ知財研究会	田中孝彦
R1.6.27	金型技術研究会役員会	ホテルクラウンパレス浜松	静岡理工科大学	山下晶平
R1.6.28	ＣＯＮ－ＥＸ2019第１回実行委員会	じゅうろくプラザ	（一社）強化プラスチック協会	鈴木一之
R1.7.9	はままつ次世代光･健康医療産業創出拠点　令和元年医工連携スタートアップ支援事業審査委員会	アクトシティ浜松	浜松次世代光・健康医療産業創出拠点	松田　稔
R1.7.18	静岡県創業者育成施設入居審査委員会	県庁	静岡県	田中孝彦
R1.7.23	ライトメタル部会第38回サマーセミナー	工学院大学	（一社）表面技術協会　ライトメタル表面技術部会	田光伸也
R1.7.26	鋳造工学会東海支部工場見学委員会	安保ホール	鋳造工学会東海支部	岩澤　秀
R1.11.15		愛知県産業労働センター		
R2.2.6				
R1.8.1	令和元年度光･電子技術活用促進事業費補助金審査委員会	静岡大学浜松キャンパス	浜松次世代光・健康医療産業創出拠点	松田　稔
R1.8.9	Ａ－ＳＡＰ産学官金連携イノベーション推進事業採択審査会	静岡大学浜松キャンパス	（公財）浜松地域イノベーション推進機構	田中孝彦
R1.8.27	戦略的基盤技術高度化支援事業研究開発推進委員会（テーマ：難加工材の微細・高精度成形を可能にする温間順送プレス工法の開発）	浜松地域イノベーション推進機構	（公財）浜松地域イノベーション推進機構	伊藤芳典
R1.10.7		静岡大学浜松キャンパス		
R1.11.11		（株）南部製作所		
R1.12.9				
R2.2.6				

年月日	委員会等の名称	会　　場	主　　催	派遣者氏名
R1.8.30	戦略的基盤技術高度化支援事業研究開発推進委員会（テーマ：次世代自動車向け軸付きはすば歯車の冷間鍛造新製法にかかる研究開発）	金田工業（株）	（公財）浜松地域イノベーション推進機構	伊藤芳典
R1.10.25				
R1.11.25				
R2.1.9				
R2.2.7				
R1.9.6	静岡県科学技術振興表彰選考委員会	静岡県庁	静岡県	田中孝彦
R1.10.29	浜松ものづくりマイスター選考委員会	浜松市役所	浜松市	田中孝彦
R2.3.2	産学官金連携イノベーション推進事業採択審査会	静岡大学浜松キャンパス	（公財）浜松地域イノベーション推進機構	田中孝彦
R2.3.4	はままつ次世代光･健康医療産業創出拠点　令和元年医工連携スタートアップ支援事業成果発表会	ＴＫＰ浜松アクトタワーカンファレンスセンター	（公財）浜松地域イノベーション推進機構	松田　稔
派遣回数　６６　回			派遣人数（延べ）　６６　人	

（ク）産業技術連携推進会議等への派遣

a　工業技術研究所及び工業技術支援センターの実績合計

	派遣回数	延べ派遣者数
工業技術研究所	３６	５１
沼津工業技術支援センター	7	7
富士工業技術支援センター	１０	１６
浜松工業技術支援センター	9	１７
合計	６２	９１

（ａ）工業技術研究所の実績

年月日	会議等の名称		会　　場	主　　催	派遣者氏名
R1.5.29	産技連関東甲信越静地域部会食品・バイオ分科会		産総研	産技連関東甲信越静地域部会	袴田雅俊
R1.6.4- R1.6.5	産総研ＩＣ会議		産総研北海道センター	産総研	櫻川智史
R2.2.13			産総研つくばセンター		
R1.6.20	中部イノベネット運営委員会		愛知県産業労働センター	中部イノベネット	櫻川智史
R1.7.5	産技連　東海北陸地域産技連　東海・北陸地域部会総会　合同会議		愛知県産業労働センター	東海北陸地域産技東海・北陸地域部会	望月一男
R1.7.9- R1.7.10	産技連ライフサイエンス部会デザイン分科会	第25回	三重北勢地域地場産業振興センター	産技連ライフサイエンス部会	多々良哲也 易　強
R1.11.14- R1.11.15		第 26 回	東京都立産業技術研究センター		
R1.7.25- R1.7.26	公立鉱工業試験研究機関長協議会		いわて県民情報交流センター	公立鉱工業試験研究機関長協議会	望月一男
R1.7.25	産技連第３回ＩｏＴものづくり分科会		東京都立産業技術研究センターＩｏＴ支援サイト	産総研	赤堀　篤 望月建治
R1.8.1- R1.8.2	令和元年度関東甲信越地区食品醸造研究会		デンカビッグスワンスタジアム	農研機構食品研究部門 新潟県農業総合研究所食品研究センター	袴田雅俊
R1.8.2	産総研テクノブリッジinさいたま		ラフレさいたま	産総研	望月一男 櫻川智史

年月日	会議等の名称		会　　場	主　　催	派遣者氏名
R1.9.26- R1.9.27	第27回塗装工学分科会		岩手県工業技術センター	産技連製造プロセス部会	渡邊雅之
R1.9.27	中部公設試験研究機関 機関長会		愛知県産業労働センター	（公財）中部科学技術センター	望月一男
R1.9.30- R1.10.1	令和元年度ＣＮＦに係る公設試研究者向けの勉強会	第１回	熊本県産業技術センター	近畿経済産業局 （地独）京都市産業技術研究所	木野浩成
R1.12.17- R1.12.18		第２回	兵庫県工業技術センター		菅野尚子
R1.10.1- R1.10.2	令和元年度産技連ライフサイエンス部会第21回医療福祉技術シンポジウム		秋田カレッジプラザ 秋田県産業技術センター	産技連医療福祉技術分科会 産総研	多々良哲也
R1.10.10	ＴＫＦ/ＭＴＥＰ会議		東葛テクノプラザ	ＴＫＦ/ＭＴＥＰ	望月一男
R1.10.30- R1.10.31	産技連 関東甲信越静地域産技連 関東甲信越静地域部会 合同総会		ホテルテラスザ・ガーデン水戸	産技連関東甲信越静地域産技連 産技連関東甲信越静地域部会	望月一男 鈴木敬明 白輪真也
R1.10.31- R1.11.1	産技連東海北陸地域部会物質・エネルギー・環境分科会		富山県産業技術研究開発センター	産技連	田中伸佳
R1.10.31- R1.11.1	全国食品技術研究会 農研機構食品研究成果展示会2019		つくば国際会議場	農研機構食品研究部門	松野正幸 袴田雅俊
R1.10.31- R1.11.1	地方創生・広域連携「『農・食・健』連携型『健康長寿の産業化・地域ブランド化』推進事業」香川・静岡事業調整会議		香川県庁 土庄町植物栽培システム研究所 香川県産業技術センター	香川県 静岡県	渡瀬隆也
R1.11.14- R1.11.15	産技連ナノテクノロジー・材料部会 第57回高分子分科会		阿波観光ホテル	産技連ナノテクノロジー・材料部会 高分子分科会	志田英志
R1.11.15	産技連東海北陸地域部会情報・電子デバイス分科会		工業技術研究所	産技連	望月一男 鈴木敬明 赤堀　篤 望月紀寿 望月建治 橘川義明
R1.11.22	全国鉱工業試験研究機関事務連絡会議関東甲信越静ブロック会議		工業技術研究所	公立鉱工業試験研究機関長協議会	望月一男 櫻川智史
R1.11.26- R1.11.27	産業技術連携推進会議東海・北陸地域部会機械・金属分科会		愛知県産業労働センター	あいち産業科学技術総合センター	長谷川和宏 綿野哲寛

年月日	会議等の名称	会　　場	主　　催	派遣者氏名
R1.12.4- R1.12.5	第47回計測分科会形状計測研究会	北九州国際会議場	産技連知的基盤部会	柳原　亘
R1.12.5				豊田敏裕 志智　亘
R1.12.25	産総研ふるさと交流会@静岡	工業技術研究所	産総研	望月一男 櫻川智史
R2.1.13	全国食品関係試験研究場所長会定期総会	つくば国際会議場	全国食品関係試験研究場所長会	望月一男
R2.1.13- R2.1.14	食品試験研究推進会議	つくば国際会議場	農業・食品産業技術総合研究機構	望月一男
R2.1.20	産技連総会	イイノホール	産技連	望月一男 櫻川智史 室伏敬太
R2.1.28	産技連環境・エネルギー部会・分科会研究会合同総会	東京都立産業技術研究センター	産技連環境・エネルギー部会	鈴木光彰
R2.2.13- R2.2.14	食品関係試験研究推進会議	つくば国際会議場	農研機構食品研究部門	渡瀬隆也
R2.2.17- R2.2.18	平成26年度地域オープンイノベーション促進事業(航空)に係る連絡委員会	南信州・飯田産業センター	長野県工業技術総合センター	櫻川智史
R2.3.23	「つながる工場テストベッド事業」に係る公募について～産総研との共同研究相手先の募集～説明会	（国研）産業技術総合研究所　臨海副都心センター	産総研	鈴木敬明 赤堀　篤
R2.3.26	2019年度　産技連ライフサイエンス部会デザイン分科会関東甲信越静ブロック/ＴＫＦデザインパートナーグループ活動報告会	神奈川県立産業技術総合研究所 よこはまブランチ総合相談室	産技連ライフサイエンス部会デザイン分科会関東甲信越静ブロック	多々良哲也
派遣回数　３６　回			派遣人数（延べ）　５１　人	

注）　産技連：産業技術連携推進会議
産総研：（国研）産業技術総合研究所
農研機構：（国研）農業・食品産業技術総合研究機構
ＴＫＦ：首都圏テクノナレッジフリーウェイ
ＭＴＥＰ：広域首都圏輸出製品技術支援センター

（ｂ）沼津工業技術支援センターの実績

年月日	会議等の名称	会　　場	主　　催	派遣者氏名
R1.7.5	産技連 東海北陸地域産技連 東海・北陸地域部会総会 合同会議	愛知県産業労働センター	産技連東海北陸地域産技連 産技連東海・北陸地域部会	大川勝正
R1.7.25	産技連製造プロセス部会第３回ＩｏＴものづくり分科会	東京都立産業技術研究センター　テレコムセンタービル	産技連製造プロセス部会	大川勝正
R1.9.27	中部公設試験研究機関 機関長会	愛知県産業労働センター	（公財）中部科学技術センター	三浦　清
R1.10.1	第21回医療福祉技術シンポジウム	秋田カレッジプラザ	産技連ライフサイエンス部会医療福祉分科会	本多正計
R1.10.30	産技連 関東甲信越静地域産技連 関東甲信越静地域部会 合同総会	ホテルテラスザ・ガーデン水戸	産技連関東甲信越静地域産技連 産技連関東甲信越静地域部会	大川勝正
R1.11.22	全国公設鉱工業試験研究機関事務連絡会議関東甲信越静ブロック会議	工業技術研究所	全国公設鉱工業試験研究機関事務連絡会議	杉本和子
R2.1.20	第60回産技連総会	イイノホール＆カンファレンスセンター	産技連	大川勝正
派遣回数 ７ 回			派遣人数（延べ） ７ 人	

注）　産技連：産業技術連携推進会議

（ｃ）富士工業技術支援センターの実績

年月日	会議等の名称	会　　場	主　　催	派遣者氏名
R1.5.30- R1.5.31	産技連表面技術分科会	米子コンベンションセンター	産技連製造プロセス部会	稲葉彩乃 高木　誠
R1.7.5	産技連 東海北陸地域産技連 東海・北陸地域部会総会 合同会議	愛知県産業労働センター	産技連東海北陸地域産技連 産技連東海・北陸地域部会	佐野禎彦
R1.7.25- R1.7.26	公立鉱工業試験研究機関長協議会総会	いわて県民情報交流センター	公立鉱工業試験研究機関長協議会	佐野禎彦
R1.9.27	中部公設試験研究機関 機関長会	愛知県産業労働センター	（公財）中部科学技術センター	佐野禎彦
R1.10.30- R1.10.31	産技連 関東甲信越静地域産技連 産技連関東甲信越静地域部会 合同総会	ホテルテラス・ザ・ガーデン水戸	産技連関東甲信越静地域産技連 産技連関東甲信越静地域部会	佐野禎彦
R1.10.30- R1.11.1	産技連東海・北陸地域部会物質・エネルギー・環境分科会	富山県産業技術研究開発センター	産技連東海・北陸地域部会	大竹正寿
R1.11.14- R1.11.15	産技連精密微細加工分科会金型・材料研究会ＭＥＭＳものづくり研究会合同開催会	山形県山形市山形テルサ	産技連製造プロセス部会	高木　誠 稲葉彩乃
R1.12.5- R1.12.6	産技連ナノテクノロジー・材料部会　紙・パルプ分科会	愛媛県産業技術研究所紙産業技術センター	産技連紙・パルプ分科会	佐野禎彦 杉本芳邦 深沢博之 長野佐和子
R2.1.20	産技連総会	イイノホール	産技連	佐野禎彦 飯野　修
R2.1.29- R2.1.30	産技連ナノテクノロジー・材料部会総会	産総研つくばセンター	産技連ナノテクノロジー・材料部会	杉本芳邦
派遣回数　１０　回			派遣人数（延べ）１６　人	

注）　産技連：産業技術連携推進会議
　　産総研：(国研)産業技術総合研究所

（ｄ）浜松工業技術支援センターの実績

<table>
<tr><th>年月日</th><th colspan="2">会議等の名称</th><th>会　　場</th><th>主　　催</th><th>派遣者氏名</th></tr>
<tr><td>R1.5.13</td><td colspan="2">産技連ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会東海地域連絡会総会</td><td>尾張繊維技術センター</td><td>産技連ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会東海地域連絡会</td><td>鈴木一之
長房秀幸</td></tr>
<tr><td>R1.6.5-
R1.6.6</td><td colspan="2" rowspan="2">産技連ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会東海地域連絡会繊維技術研究会</td><td>富士Ｃａｌｍ</td><td rowspan="2">産技連ナノテクノロジー・材料部会繊維分科会</td><td>鈴木重好</td></tr>
<tr><td>R1.12.3</td><td>浜松工業技術支援センター</td><td>田中孝彦
鈴木一之
鈴木重好
森田達弥
長房秀幸</td></tr>
<tr><td>R1.7.5</td><td colspan="2">産技連 東海北陸地域産技連 東海・北陸地域部会総会 合同会議</td><td>愛知県産業労働センター</td><td>産技連東海北陸地域産技連
産技連東海・北陸地域部会</td><td>田中孝彦</td></tr>
<tr><td>R1.9.27</td><td colspan="2">中部公設試験研究機関 機関長会</td><td>愛知県産業労働センター</td><td>（公財）中部科学技術センター</td><td>田中孝彦</td></tr>
<tr><td>R1.11.6</td><td rowspan="2">令和元年度デジタルものづくり研究会</td><td>第１回</td><td>愛知県産業労働センター</td><td rowspan="2">中部経済産業局</td><td rowspan="2">伊藤芳典
望月智文</td></tr>
<tr><td>R1.12.11</td><td>第２回</td><td>名古屋市工業研究所</td></tr>
<tr><td>R1.12.26</td><td colspan="2" rowspan="2">産技連東海・北陸地域部会機械・金属分科会
第１回炭素繊維複合材料高度利活用技術研究会</td><td>岐阜県産業技術総合センター</td><td rowspan="2">産技連東海・北陸地域部会機械・金属分科会
炭素繊維複合材料高度利活用技術研究会</td><td>鈴木一之
長房秀幸</td></tr>
<tr><td>R2.3.5</td><td>（電話）</td><td>鈴木一之</td></tr>
<tr><td colspan="4">派遣回数 ９ 回</td><td colspan="2">派遣人数（延べ） １７ 人</td></tr>
</table>

注）　産技連：産業技術連携推進会議

（ケ）　学会等への発表、外部発行誌等への投稿及び展示会への出展

ａ　工業技術研究所及び工業技術支援センターの実績合計

	学会等発表回数（ポスター発表含む）	学会誌等投稿	一般誌投稿	展示会出展
工業技術研究所	２８	４	３	１２
沼津工業技術支援センター	５	１	１	５
富士工業技術支援センター	５	０	７	１７
浜松工業技術支援センター	１２	１	０	８
合計	５０	６	１１	４２

（ａ）工業技術研究所の実績（※はポスター発表）

年月日	項　　目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
R1.5.28	静岡県由来乳酸菌の機能性解明※	産総研・産技連ＬＳ－ＢＴ合同研究発表会	－	袴田雅俊
R1.6.6-R1.6.7	脱炭処理による竹活性炭の細孔制御と電気二重層キャパシタ特性の向上	木質炭化学会	－	菊池圭祐
R1.6.15	労働をアシストするテクノロジーと人間工学	日本人間工学会第60回大会	日本人間工学会第60回大会要旨集	易　強
	企業における人間工学活動氷山の一角			
	身体動作をアシストするテクノロジーと人間工学			
R1.6.17	変化点検出に基づく可変ビン幅ヒストグラムの構築	情報処理学会　第123回ＭＰＳ研究会	情報処理学会誌	岩﨑清斗
R1.6.17	A QUANTITATIVE VISUAL EVALUATION METHOD FOR IN-VEHICLE OPTICAL DEVICES BY LIGHTING SIMULATION※	2019年国際照明委員会大会	Proccedings of the 29th Session of the CIE	豊田敏裕
R1.6.18	EVALUATION OF THE INFLUENCE OF AN INTEGRATING SPHERE INTERNAL STRUCTURE ON TOTAL LUMINOUS FLUX MEASUREMENT※			志智　亘

年月日	項　　目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
R1.6.19	2019年度ＵＤ科紹介※	産業技術連携推進会議 ライフサイエンス部会 第25回 デザイン分科会	－	多々良哲也
R1.7.12	加熱による傾斜組成キチン薄膜の自己スクロール機構の解明※	セルロース学会第26回年次大会	－	菅野尚子
R1.9.2	機能性表示食品制度を活用した取組と柑橘加工品の開発	シーズ&ニーズビジネスマッチング研究発表会	研究発表会要旨集	松野正幸
	静岡県由来乳酸菌の機能性解明			袴田雅俊
R1.9.9	マイクロバブルを用いて作製した新規フォームめっきの構造評価	一般社団法人表面技術協会第140回講演大会	－	綿野哲寛
R1.10.1	静岡茶の吸湿・消臭機能を活かしたパーム・デオドラント『にぎるっ茶』	令和元年度産業技術連携推進会議ライフサイエンス部会第21回医療福祉技術シンポジウム	－	多々良哲也
R1.10.26	Construction of Histogram with Variable Bin-width based on Change Point Detection	DS2019:22nd International Conference on Discovery Science	機械学習ジャーナル	岩﨑清斗
R1.10.31	機能性表示食品制度を活用した取組と柑橘加工品の開発	全国食品技術研究会	－	松野正幸
	静岡県由来乳酸菌の機能性解明			袴田雅俊
R1.11.14	Diffraction Efficiency Measurement of Plastic Diffractive Lens for LED Lighting※	第４回生体医歯工学共同研究拠点国際シンポジウム	The 4th International Symposium on Biomedical Engineering	志智　亘
R1.11.14	静岡茶の吸湿・消臭機能を活かし遠州綿紬を使用した『にぎるっ茶』の開発	令和元年度 産業技術連携推進会議 ライフサイエンス部会第26回 デザイン分科会	－	多々良哲也
R1.11.26	ＸＡＦＳを利用したＦｅ－Ｍｏ合金めっきの開発	2019年度 産業技術連携推進会議 東海・北陸地域部会 機械・金属分科会	－	綿野哲寛
R1.12.6	小型・低コストバイオマスガス化 発電システムの開発 ―ガス化生成物の解析・評価―	令和元年度 静岡県施肥研究会	－	岡本　哲志
	新たな廃石膏ボードリサイクルの可能性　-リン肥料への期待-			鈴木　光彰

年月日	項　　目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
R2.2.13	茶（チャ）未利用資源「茶の実油」利用技術の確立と製品化支援	全国食品研究所場長会令和元年度優良研究・指導業績表彰授賞式	－	渡瀬隆也
R2.3.16	セルロースナノファイバー添加によるモルタルのひび割れ・収縮制御効果	第70回日本木材学会大会	－	村松重緒
	木炭の分子篩効果―α-ピネン・トルエン混合気体からのトルエン選択吸着の機構に関する考察		－	菊池圭祐
	木炭の分子篩効果―α-ピネン・トルエン混合気体からのトルエン選択吸着の機構に関する考察		－	山下里恵
R2.3.26	機能性向上を狙った静岡県産農産物の乳酸菌発酵	日本農芸化学会2020年度大会	－	袴田雅俊
R2.3.26	静岡県工業試験場～工業技術研究所デザイン部門活動報告	2019年度　デザイン分科会関東甲信越静ブロック / ＴＫＦデザインパートナーグループ活動報告会	－	多々良哲也
学会誌及び専門誌への投稿				
R1.5.10	Human TRPA1 activation by terpenes derived from the essential oil of daidai, Citrus aurantium L. var. daidai Makino	－	Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry, Volume 83, 2019	山下里恵 櫻川智史
R1.6.1	静岡県産茶の実油の成分組成調査と商品開発	－	食品と容器	渡瀬隆也
R2.2.1	文献紹介「EVALUATION OF THE INFLUENCE OF AN INTEGRATING SPHERE INTERNAL STRUCTURE ON TOTAL LUMINOUS FLUX MEASUREMENT」	－	照明学会誌104巻２号	志智　亘
R2.2.1	文献紹介「A QUANTITATIVE VISUAL EVALUATION METHOD FOR IN-VEHICLE OPTICAL DEVICES BY LIGHTING SIMULATION」	－		豊田敏裕

年月日	項　　目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
一般誌等への投稿				
R1.11.15	セルロースナノファイバーによる香りの放散挙動	－	FRAGRANCE JOURNAL	石橋佳奈 山下里恵 前田研司
R2.2.22	ポリプロピレンのめっき特性に及ぼす影響	－	月刊ＪＥＴＩ	田中宏樹
R2.3.22	赤外分光イメージング技術を活用したPP/CNFコンポジットのCNF分散性評価	－	月刊ＪＥＴＩ	菅野尚子 志田英士
展示会への出展				
R1.6.5- R1.6.7	研究成果及び業務の紹介	シズオカ「ＫＡＧＵ」メッセ2019	－	工芸科
	2020年度ＵＤ科紹介			多々良哲也
R1.10.15	静岡県産品の化粧品素材化～機能性・安全性評価～	コスメティックフォーラム	－	山下里恵 石橋佳奈
	～天然素材の香りを測る～１次元２次元切替GC-O/MS			
R1.11.1	機能性表示食品制度を活用した取組と柑橘加工品の開発	農研機構　食品研究成果展示会2019	食品の試験と研究	松野正幸
	静岡県由来乳酸菌の機能性解明			袴田雅俊
R1.11.8	デザインマッチング事業紹介	第9回産業振興フェアinいわた	－	大賀久美
R1.11.9	国産材認証ダボ、杜の都			工芸科
R1.11.9	メタン発酵実証化事業の紹介			宮原鐘一 太田良和弘
R1.11.11	デザインマッチング事業紹介	第４回グッドデザインフォーラム	－	大賀久美
R1.11.14	デザインマッチング事業紹介	富士山麓産学官金連携フォーラム2019	－	大賀久美
R1.12.6- R1.12.8	県産の香り（４種類）展示	静岡県化粧品展（中国上海長寧区長寧路）	－	山下里恵 石橋佳奈
合計件数　４７　件		学会等発表　２８　件・投稿等　７　件・展示会　１２　件		

（ｂ）沼津工業技術支援センターの実績（※はポスター発表）

年月日	項　　目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
R1.7.8- R1.7.12	Control method of Kinesthetic Illusion using natural frequency of tendon toward compact rehabilitation devices	IEEE/ASME International Conference on Advanced Intelligent Mechatronics	The AIM proceedings	本多正計
R1.9.2	葛花（かっか）酵母を活用した発酵食品の開発 -清酒への応用-	シーズ&ニーズビジネスマッチング研究発表会	－	黒瀬智英子
R1.9.4	静岡県における醸造用酵母の開発	酵母遺伝学フォーラム第52回研究報告会	－	勝山 聡
R1.11.9	Measurement of stress-strain curves by hot compression testing for biomedical Ti-6Al-4V ELI alloy	第24回静岡健康・長寿学術フォーラム	－	是永宗祐
R2.3.11	画像処理と深層学習によるアナログメータの読み取り性能の比較	令和２年電気学会全国大会	－	竹居 翼
学会誌及び専門誌への投稿				
R1.6.1	沼津工業技術支援センターにおける医療機器開発支援	－	日本生活支援工学会誌 Vol.19 No.1	本多正計
一般誌等への投稿				
H31.4.1	独自酵母やサワーエール製造技術で業界を支援	－	SERI Monthly 2019 4	勝山　聡 鈴木雅博
展示会への出展				
R1.11.8- R1.11.9	葛花酵母を使用した日本酒	産業振興フェア inいわた	－	バイオ科
R1.11.14	葛花（かっか）酵母を活用した発酵食品の開発 -清酒への応用-	富士山麓産学官金連携フォーラム2019	－	大川勝正 本多正計 飯塚千佳世
	Measurement of stress-strain curves by hot compression testing for biomedical Ti-6Al-4V ELI alloy			
R1.11.28	Measurement of stress-strain curves by hot compression testing for biomedical Ti-6Al-4V ELI alloy	第14回静岡県東部テクノフォーラム	－	三浦 清 本多正計
R2.2.7	スマートフォンを用いた酸素ボンベ残量アラームの開発	第37回日本ストーマ・排泄リハビリテーション学会総会	－	竹居 翼
合計件数 １２ 件		学会等発表 ５ 件・投稿等 ２ 件・展示会 ５ 件		

（ｃ）富士工業技術支援センターの実績（※はポスター発表）

年月日	項　　目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
R1.5.25	緑茶由来セルロースナノファイバーの作成と綿布の改質	（一社）日本家政学会第71回大会	－	河部千香
R1.5.25	緑茶由来セルロースナノファイバーの作成と綿布の改質※	（一社）日本家政学会第71回大会	－	河部千香
R1.6.3-R1.6.7	Deodorizing permormance of the fabric coated with green tea derived CNF※	2019 International Conference on Nanotechnology	－	河部千香
R1.6.20	セルロースナノファイバー添加パルプ繊維シートにおける歩留まりと引張強さの関係	第86回紙パルプ研究発表会	－	齊藤将人
R1.11.12-R1.11.13	プラズマ照射による異種材料接着性向上の評価※	プラスチック成形加工学会第27回秋季大会成形加工シンポジア’19	－	稲葉彩乃
学会誌及び専門誌への投稿				
実績なし				
一般誌等への投稿				
R1.5.1	製紙産業の持続的発展を支援しＣＮＦでは研究開発拠点の役割も	－	紙パルプ技術タイムス	佐野禎彦
R1.7.25	ふじのくにＣＮＦ研究開発センターの開設	－	紙パルプの技術第70巻第１号	富士工業技術支援センター
R1.9.1	ほぐれにくいトイレットペーパーの原因追及と対策		紙パルプ技術タイムス第62巻第９号	齊藤和明 深沢博之 齊藤将人 杉本芳邦
R1.10.25	セルロースナノファイバーによる地域産業の活性化－ＣＮＦ塗工紙の透気抵抗度、耐油性及び印刷特性の評価－	－	紙パルプの技術第70巻第2号	白井　圭 齊藤将人 山口智久
	セルロースナノファイバーによる地域産業の活性化－薬品レスタオルペーパーの開発－			齊藤将人 白井　圭 山口智久
	水に解けないトイレットペーパーの原因追及と対策（第1報）			齊藤和明 深沢博之 木野浩成 齊藤将人 白井　圭 山口智久

年月日	項　　目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
R2.3.1	静岡県工業技術研究所富士工業技術支援センターにおけるＣＮＦに関する取り組みとふじのくにＣＮＦ研究開発センターの開設	－	強化プラスチック協会誌　Vol66,No.3	佐野禎彦
展示会への出展				
R1.10.26-R1.10.27	水に解けないトイレットペーパーの原因追及と対策	第６回富士山紙フェア	－	佐野禎彦 飯野　修 杉本芳邦 深沢博之 本間信行 齊藤和明 齊藤将人 田中翔悟
	セルロースナノファイバーによる地域産業の活性化			
	異種材料接合のための新型プラズマ照射装置の開発			
	富士工業技術支援センター概要			
	富士工業技術支援センター業務案内			
	ふじのくにＣＮＦプロジェクトの推進			
R1.11.8-R1.11.9	セルロースナノファイバーの実用化に向けた支援	産業振興フェアinいわた	－	大竹正寿
R1.11.14	異種材料接合のための新型プラズマ照射装置の開発	富士山麓産学官金連携フォーラム2019	－	本間信行
	セルロースナノファイバーによる地域産業の活性化			
R1.11.27	富士工業技術支援センター業務案内	富士山麓アカデミック＆サイエンスフェア2019	－	本間信行 高木　誠
	プラズマ照射による異種材料接着性向上の評価			
	異種材料接合のための新型プラズマ照射装置の開発			
R1.11.19	セルロースナノファイバーによる地域産業の活性化	ふじのくにＣＮＦ総合展示会	－	大竹正寿 田中翔悟 河部千香 前田研司
	解繊度合いの異なるＣＮＦの紙への添加効果			
	セルロースナノファイバーによる地域産業の活性化－ＣＮＦの塗工紙への利用－			
	セルロースナノファイバー（ＣＮＦ）関連機器の紹介			
	ふじのくにＣＮＦ研究開発センター			
合計件数　２９　件		学会等発表　５　件・投稿等　７　件・展示会　１７　件		

（ｄ）浜松工業技術支援センターの実績（※はポスター発表）

年月日	項　　目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会等への発表				
R1.6.8	サブナノ秒マイクロチップレーザーを用いたレーザーピーンフォーミング（第一報　水膜厚の影響）	2019年度塑性加工春季講演会	講演論文集	鷺坂芳弘
	サブナノ秒マイクロチップレーザーを用いたレーザーピーンフォーミング（第二報　デフォーカスの影響）			
R1.9.6	サブナノ秒マイクロチップレーザによるレーザピーンフォーミング（第２報） －水深による成形性の変化－	2019年度精密工学会秋季大会学術講演会	講演論文集	鷺坂芳弘
	サブナノ秒マイクロチップレーザによるレーザピーンフォーミング（第３報） －板厚と材質の影響－			
R1.10.13	サブナノ秒マイクロチップレーザーを用いたレーザーピーンフォーミング（第三報　パルスエネルギーと変形モード）	第70回塑性加工連合講演会	講演論文集	鷺坂芳弘
	サブナノ秒マイクロチップレーザーを用いたレーザーピーンフォーミング（第四報　材質と板厚による変形モード）			
R1.10.24-R1.10.25	ＵＤテープ細断成形材とコンプレッション成型によるＣＦＲＴＰ成形技術	64th FRP　CON-EX 2019（第64回FRP総合講演会・展示会）	－	森田達弥
	繊維開繊による樹脂含浸性とＵＤテープ成形材の成形性について※			長房秀幸
R1.12.11	Generation of Hydrophobic Effect of Nickel 3D Structure by Electroplating※	Materials Research Meeting 2019	－	田光伸也
R2.3.3	塩化ニッケル浴による凹凸構造の作製及び疎水性皮膜への応用	表面技術協会第141回講演大会	表面技術協会第141回講演大会講演要旨集	望月智文
R2.3.17	２次元色彩計による高速表面粗さ測定法の開発	2019年度精密工学会春季大会学術講演会	講演論文集	中野雅晴
	サブナノ秒マイクロチップレーザによるレーザピーンフォーミング（第４報） －変形モードへのパルスエネルギの影響－			鷺坂芳弘

年月日	項　　目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
学会誌及び専門誌への投稿				
R1.12.20	透明プラスチック同士のレーザー溶着とその品質評価法	プラスチック成形加工誌「成形加工」	技術報告	小松　剛 中野雅晴 太田幸宏
一般誌等への投稿				
実績なし				
展示会への出展				
H31.4.26- R1.5.31	レーザーによる繊維へのカラー微細マーキング、メガネレンズのレーザー染色技術の開発、世界最小レベルの貴金属パイプの開発、エネルギーを無駄なく使う新しい蓄電装置の開発、高意匠コーデュロイの開発※	浜松市立都田図書館	－	
R1.6.15	手機織機、製紐機	第11回綿の産地フェア	－	鈴木一之 鈴木重好 森田達弥 長房秀幸 石原彰浩 木村吉延 平山章子 小林英雄 小玉高史
R1.7.6- R1.7.7	ゆかた試作品、ジャカード試織品、ＣＦＲＴＰ成形試作品	注染・ゆかた・和装展	－	鈴木一之 鈴木重好 森田達弥 長房秀幸 石原彰浩 木村吉延 平山章子 小林英雄 小玉高史
R1.10.8- R1.10.9	透明樹脂用レーザー溶着装置 ＩｍＰＡＣＴマイクロチップレーザー 共焦点レーザー顕微鏡	産業振興フェアinいわた	－	松田　稔 小松　剛 山下晶平
R1.10.24- R1.10.25	浜松地域ＣＦＲＰ事業化研究会会員企業の研究･開発状況の紹介	64ｔｈ　ＦＲＰ　CON－ＥＸ 2019 (第64回ＦＲＰ総合講演会･展示会)	－	鈴木一之 鈴木重好 森田達弥 長房秀幸

年月日	項　　目	発 表 会 名	発表刊行物	発表者名
R1.10.26- R1.10.27	手機織機、製紐機、試作組紐	綿の産地フェア　浜松染め織りマーケット	－	鈴木一之 鈴木重好 森田達弥 長房秀幸 石原彰浩 木村吉延 平山章子 小林英雄 小玉高史
合計件数　２１　件		学会等発表　１２　件・投稿等　１　件・展示会　８　件		

（２）令和元年度研究成果一覧

ア　工業技術研究所

区分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究期間	研究目的 背景等	研究成果	研究成果の活用及び普及等の状況	備考
新成長戦略研究	車載光学機器産業を支援する設計・評価・生産支援技術の開発	継続	単独	H30～R2	県の成長産業分野である次世代自動車に求められる車載光学機器の開発にあたり、産業を持続的に発展させるための先取り型の開発支援のための設計・評価・生産支援技術を完成させる。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
新成長戦略研究	生産基盤拡大に繋がる家畜ふん尿の乾燥及びエネルギー転換技術の開発	継続	単独	H30～R2	家畜ふんのエネルギー利用を進めるため、エネルギー源として品質が確保された家畜ふん乾燥技術や、燃焼時に発生する排ガス対策技術及び灰利用技術を開発することで、新たなエネルギー利用システムを構築する。	固液分離処理により、乾燥牛ふん中の窒素及び硫黄濃度を60%以上低下させることが可能であった。また、バイオマスボイラーを用いて燃焼時の排ガス濃度の測定を行い、窒素酸化物、硫黄酸化物ともに基準内であった。	乾燥牛ふん、及び他のバイオマスとの混合燃料に対する燃焼試験を通じ、燃焼効率と排ガスの規制基準を両立する条件を明らかにすることで、協力する県内企業への普及を目指す。	畜産技術研究所
新成長戦略研究	次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発	新規	単独	H31～R3	自動車部品へのセルロースナノファイバー（CNF）の活用が期待されているが、ポリプロピレン・CNF複合材の「マスターバッチ」を入手できない、求める特性が得られないなどの課題に対応することを目的とする。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	静岡大学 企業2社
新成長戦略研究	IoT導入支援のための技術拠点と先進事例モデルの構築	新規	共同	H31～R3	県内企業のIoTへの関心は高いが、資金面や効果に対する不安から、普及が進んでいない。そこで、ポータブルIoT導入パックの開発、IoT検証ラボの開設、モデル工場の実現と効果分析により、導入を促進する。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業2社

新成長戦略研究 緊急対応研究枠	ドイツ、フラウンホーファー研究機構と県内産業との連携推進	新規	単独	R1	独フラウンホーファー研究機構と県内企業との技術マッチングを現地で行い連携の可能性を検討する。現地での研究シーズの調査、人的ネットワークの構築、県内でのセミナー開催を通して研究交流基盤を構築する。	フラウンホーファー研究所８ヶ所、企業等20社を９月と10月の２回に分けて現地調査。県内企業７社他が個別に同行。帰国後、フラウンホーファーの研究者２名が来日し県内企業２社と技術マッチング実施。	フラウンホーファーの技術導入、新規開発の委託（県内企業２社）。県内企業の研究成果の欧州展開にフラウンホーファーが協力（１社）。フラウンホーファー・独企業が県内企業へ製品のサンプル提供を依頼（１社）。	
新成長戦略研究 緊急対応研究枠	海洋微生物を活用したバイオマスリファイナリーによるサプリメントの開発	新規	単独	R1	海洋微生物を活用したマリンバイオ産業創出と県内食品製造工場で発生する糖質系固体バイオマスの高付加価値利用技術の開発を目的として、カロテノイド生産海洋微生物の分離とバイオマス糖化技術の構築を行う。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社 静岡県立大学
新成長戦略研究 緊急対応研究枠	マリンバイオを活用した新たな食品開発に向けた微生物探索技術の開発	新規	共同	R1	R2年度より開始の新成長戦略研究を見据え、乳酸発酵甘酒開発に必要な微生物を海水及び海洋深層水から単離する方法の開発及び乳酸発酵甘酒の基礎的な製造方法を確立する。	海水及び海洋深層水から甘酒中で増殖可能な乳酸菌を単離する方法を確立し、実際に乳酸菌と思われる17の菌株を得た。また、甘酒を用いて乳酸発酵を行い、酸味が付与された甘酒を製造する方法の基礎を確立した。	本研究で得られた微生物及びその単離方法、甘酒の製造方法は、新成長戦略研究における製品開発に利用していく。	水産技術研究所 沼津工業技術支援センター 農林技術研究所 畜産技術研究所 環境衛生科学研究所
県単独研究	静岡型健康長寿モデル構築のためのレシピ及び高機能型食品開発	継続	単独	H28 ～ R1	県民の健康長寿に役立つ、県産食材を活用して生活習慣病予防を目指した食生活に寄与する食事メニュー（食改善レシピ）開発ならびにロコモ予防食品の開発することを目的とする。	食改善レシピは加速化事業を含めると52レシピ８セットメニューが開発されたほか、ロコモ予防に役立つと思われるイミダゾールジペプチドやカルシウムを配合し、新素材のCNFを活用した試作品を開発した。	県庁ホームページでの食改善レシピ公開による普及と、民間企業によるロコモ予防食品の開発支援。	
県単独研究	作業負担を軽減する新たなアシスト機構の開発	継続	単独	H30 ～ R2	農業、工業、運輸業、介護などしゃがむ姿勢が多く作業負担が大きい。主にひざに掛かる作業負担軽減する新たなアシスト機構を開発する。	立ち上がり、しゃがみの際に、膝の負担を軽減可能なアシストスーツの３次元設計、試作、制御用回路の試作を行った。	今後、実用化に向けて、エネルギーを使わない弾性体によるアシスト技術等との組み合わせを検討していく。	

県単独研究	酪農作業に適したアシストスーツの開発	継続	共同	H30～R1	酪農家の高齢化や長時間労働に伴い、作業負担軽減策に取り組むことが求められている。作業負担軽減の手段としてアシストスーツがあるが、酪農の負担軽減を目指して開発されたものがなく、十分な効果が得られない。	「膝を床に付ける片膝立ちの姿勢」がとれるアシストスーツを試作し、着用した際の作業効率と主観的な疲労感を評価した。結果、アシストスーツを着用しても作業効率が低下せず、疲労感は低減されることが確認された。	研究成果を学術雑誌に投稿し、製品化に向けて企業と協働する。	
県単独研究	農業実践例の大規模類似ネットワークに基づくナレッジベースの構築	新規	単独	H31～R2	静岡県立大学（以下、県大）との共同研究「農業実践例の大規模類似ネットワークに基づくナレッジベースの構築」の枠組みの中で実施する。	LPWA規格の一種であるSigfoxを用い、ビニールハウス内の遠隔監視システムを構築した。データ形式の定義により、Sigfoxの通信制限内での送信が可能となった。	成果は共著者として情報通信学会へ投稿した。	静岡県立大学 東京工科大学 神奈川大学
県単独研究	セルロースナノファイバーによる香り放散機構の解明	新規	単独	H31～R1	本研究では、セルロースナノファイバー(以下、CNF)による香りの徐放機構の解明及びCNFの繊維長の違いによる香りの放散挙動の変化を測定する事を目的とした。	香り成分と水の界面にCNFが吸着し、ピッカリングエマルションを形成した。短繊維CNFは標準品CNFと比べ、放散が僅かに緩慢に進行し、繊維長によって放散挙動が異なることが示唆された。	県内企業と共同で、県産の香りを活用した製品（雑貨や香粧品・食品等）や徐放性の技術を提案し、県内外に発信することで、研究成果の普及を図る。	
県単独研究	みかん搾汁残渣を利用した機能性食品素材の開発	新規	共同	R1	湿式微粒化装置スターバーストを利用することで、みかんジュース搾汁時に廃棄される残渣から機能性成分b-クリプトキサンチンを抽出し、機能性食品素材を開発することを目的とした。	みかん搾汁残渣をマスコロイダー及び酵素処理することでスターバーストへ通液可能な粒度を実現し、機能性オイル素材を試作した。また、製造現場で利用可能なb-クリプトキサンチン迅速分析法を開発した。	中小企業が搾汁残渣から素材を生産・販売、もしくは製品開発に利用することで普及を図る	
県単独研究	家具の品質向上に向けた要素技術の開発	新規	単独	H31～R2	家具の品質向上のために、①勢いよく座った時の破損を模擬する試験の実施② 木工プレス機の適切な荷重管理について製品への影響を調査し、改善すべき点を抽出する。	椅子へ力のかかる状況をモニターし、体重と力の関連を調査した。また、県内木工企業へ出向き、プレス機の強度設定値と実際の荷重の調査を行い、改善すべき事項を指摘した。	県内企業に対して、試験方法の提案やプレス機の荷重の状況報告を行い、品質向上に役立てる。	

県単独研究	積層板の音響特性における接着剤の影響	新規	共同	H31～R2	静岡県は和楽器・洋楽器の出荷量が多い。高音質な楽器の製造には材料の特性向上は重要である。CNFを添加した接着剤を使用した積層板について、振動特性への影響を調査し、楽器用途への展開を検討する。	CNFをPVAに添加することで、引張弾性が向上した。動的曲げ弾性率は、添加CNFにより増減することが確認され、CNFの種類と添加量により、目的に沿った減衰率に制御できる可能性が示唆された。	音響特性の選択的な向上を目的に、CNF添加接着剤の振動特性データを蓄積し、残響制御機能を活かした用途開発につなげる。	
一般共同研究	EVシフトに要求される欠陥レスで高密着な樹脂めっきの作製	新規	共同	H31～R2	EVシフトによる車体軽量化のため、鉄から樹脂へ置き換える動きが加速している。本研究は、環境に優しい樹脂エッチングを開発することで欠陥レスかつ高密着な樹脂めっきを作製し、樹脂材料の高機能化を目指す。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
一般共同研究	射出成形における部材金属と樹脂の表面特性向上に関する研究	新規	共同	H31～R2	レンズ用透明樹脂部品は、光源付近で使用されるため、微小異物等の欠陥に厳しく、高い良品基準が要求されている。成形機部品材料と樹脂の剥離性を評価し、表面の特性改善を行って、不良の低減を図る。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
一般共同研究	樹脂中に含まれる微小な植物繊維の定量評価法検討	新規	共同	H31～R3	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
一般共同研究	TRP受容体発現細胞の作成・培養、３種のTRP受容体の活性評価（化粧品素材としての皮膚機能に対する評価）	新規	共同	R1	静岡県の豊富な農林水産品から抽出されるエキス、種子油、香り等について、化粧品として有用な機能性成分を探索する。	抽出素材化した試料24種について、３種のTRP受容体の活性評価を実施した。皮膚バリア機能の修復に効果があるとされるTRPＡ１及びTRPＶ４活性化作用を、それぞれ12種及び1種の試料で見出した。	得られた知見は、県内事業者に提供し、化粧品製造への新規参入やOEM、PB製品開発を加速化する。	静岡県立大学
一般共同研究	化粧品素材のROSアッセイによる光安全性評価試験（化粧品素材としての光過敏性リスクに対する評価）	新規	共同	R1	静岡県の豊富な農林水産品から抽出されるエキス、種子油、香り等について、化粧品としての安全性評価を実施した。	抽出素材化した試料24種について、光毒性評価を実施したところ、一部限定的な陽性を示したが、半数は陰性であった。更に、１種については、光毒性を減弱化する傾向が見出された。	得られた知見は、県内事業者に提供し、化粧品製造への新規参入やOEM、PB製品開発を加速化する。	静岡県立大学

一般共同研究	ナノセルロースを活用した医療福祉ニーズに応える機能性アロマ・基礎化粧品の開発	新規	共同	R1	セルロースナノファイバー（以下、CNF）を活用して、ヒトへの心理・生理効果が期待される機能性の香り成分を徐放するアロマ・基礎化粧品（乳液）を試作開発することを目的として、試験を行った。	杉、ジンジャー、ローズウッド、クロモジにはコラーゲン生産促進効果が認められた香り成分が含まれていた。バラ蒸留水には、3,5-Dimethoxytoluene が含まれていた。	CNFを活用した乳液を発売予定である。	静岡県立大学
一般共同研究	ドライマンナン（乾燥こんにゃく）を利用した新たな低糖質加工食品の開発	新規	共同	R1	新たに本県で開発された「ドライマンナン（乾燥こんにゃく）」を使用したヘルシーハンバーグの物性等を測定し、既存製品との比較を行う。	畜肉不使用の「ゼロミートヘルシーハンバーグ」が開発された。機器を用いた食感分析により畜肉に近い食感であることが分かり、官能評価においても同様の傾向が見られた。	令和２年夏ごろを目処に企業による商品化予定。	静岡県立大学
一般共同研究	農林業のニーズに応える低コスト・高効率バイオマスガス化発電の要素技術である前段処理装置の開発	新規	共同	H31～R2	農林業のニーズに応えるために、小型・低コストバイオマスガス化発電システムを開発する。高効率化及び低コスト化を図る上で必要な技術要素を一体化させたユニット（実証機）を製作する。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
一般共同研究	医療機関と連携した人間中心設計による医療機器の開発	新規	共同	R1～R2	企業からカフ圧自動管理機器の使い勝手に関する相談があった。そこで現行品の使い勝手評価を実施し、そこから得られた知見に基づいて仕様を検討することで、看護師にとって使いやすいカフ圧管理機器の開発を行う。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金による研究） 地産エネルギー促進事業費（県エネ策課）	静岡版メタン発酵プラントによる食品バイオマスのエネルギー利用	継続	受託	H29～R1	県内食品製造企業等が食品廃棄物をエネルギー利用によりリサイクルするのを支援するため、廃棄物排出規模に適する安価な小型メタン発酵プラントを開発し、分散型エネルギー社会と物質循環型社会の構築を目指す。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業2社

受託研究（競争的資金による研究） 戦略的基盤技術高度化支援事業（経産省）	次世代コミュニケーションランプの微細高精度化に対応する金型加工技術の確立	継続	受託	H30～R2	自動運転に必要なコミュニケーションランプの金型製造を可能とするため、大型かつ超精密加工を可能とする加工技術を開発する。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金による研究） 新成長産業戦略的育成事業助成事業（県産業振興財団）	セルロースナノファイバーを活用したアロマ・基礎化粧品の開発	継続	受託	H30～R1	セルロースナノファイバー（以下、CNF）を活用して、ヒトへの心理・生理効果が期待される機能性の香り成分を乳化・徐放する、アロマ・基礎化粧品（乳液）を試作開発することを目的として、試験を行った。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金による研究） 可能性調査事業（ファルマバレーセンター）	医療現場で活用できる頭部固定枕の開発	継続	受託	H30～R1	医師の要望に、手術中における頭部の固定がある。体位変換時の頭部固定の程度は、人体の頭部形状モデルを用いた力学的な検討で評価できる。本研究では、力学的な観点からの頭部固定枕の開発を行う。	試作した枕を使い、手術台を傾斜させた際の頭部横方向移動量を測定した。開発品の頭部横方向移動量は現行品の35%程度（65%低減）であり、手術台を左右に傾けた際に効果的に頭部が固定できることが示された。	静岡がんセンターのIRB承認を得て開発品を臨床で使用し、2020年度に実際の使用環境下における効果の確認を行う予定である。	理化学研究所 県立がんセンター
受託研究（競争的資金による研究） 戦略的基盤技術高度化支援事業（経産省）	エアコン用圧縮機の省エネと小型化を両立する高強度軽量スクロール翼のニアネット鋳造技術の開発	新規	受託	R1	省エネの観点からエアコン圧縮機のスクロール翼に主に使われている鋳鉄に代わる軽量な高強度アルミニウム複合材料及び造形プロセス技術の開発を行う。本研究では、作製した複合材料の強度評価を行う。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社

受託研究（競争的資金による研究） 地域課題に係る産学共同研究委託事業（B-nest）	新マイクロ波抽出技術による魚節フレーバー濃縮エキスの開発	新規	受託	R1	柑橘類の果皮や茶葉などからフレーバーを抽出するのに利用されているマイクロ波減圧蒸留技術を、魚節に応用し、魚節フレーバー濃縮エキスを製造する技術の開発を目的とする。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金による研究） ﾏﾘﾝｵｰﾌﾟﾝｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ事業化促進事業（県産業イノベ課）	静岡県産アカモクの機能性成分及び微生物評価	新規	受託	R1	静岡県産アカモクを原料とした食品・化粧品開発を見据え、県内産アカモクの機能性成分及び微生物の評価を行い、他産地産と比較する。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金による研究） 地域課題に係る産学共同研究委託事業（B-nest）	低カロリー低糖質な新素材「ドライマンナン（乾燥こんにゃく）」を使用したヘルシーハンバーグの研究開発	新規	受託	R1	新たに本県で開発された「ドライマンナン（乾燥こんにゃく）」を使用したヘルシーハンバーグの物性等を測定し、既存製品との比較を行う。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金による研究） 新成長産業戦略的育成事業助成事業（県産業振興財団）	緑茶葉等由来の食品用微細化素材の開発及び物性等の評価	新規	受託	R1	緑茶葉等をナノレベルまで微細化する方法を検討し、同微粒子の分散水を濃縮することで変化する物性の検証を行う。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社

受託研究（競争的資金による研究） 新成長産業戦略的育成事業助成事業（県産業振興財団）	介護動作指導支援システムの提案及びユーザビリティ評価	新規	受託	R1	超高齢社会に突入した日本では、介護従事者の腰痛の予防が重要な課題となっている。そこで小型化の進歩が著しい小型センサ技術と情報通信技術を活用し、介護従事者が利用できる支援システムの試作及び評価を行う。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金による研究） 先端企業育成プロジェクト推進事業（県新産課）	流動成形加工した木材の物性評価	新規	受託	R1	特定の条件下において木材の細胞同士の間で「すべり」が生じる現象（流動現象）を利用して、樹脂や金属のように金型に沿って流動させて三次元成形体に加工する方法での製品の強度等の評価を行う。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	LPWAを用いためっき処理装置の遠隔監視システムの構築	新規	受託	R1	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	オーディオスピーカーの音響特性の評価	新規	受託	R1	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	栄養機能食品開発を目指したキクラゲの紫外線照射条件の検討	新規	受託	R1	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	バイオマス及びガス化生成物の元素分析による性能評価に関する研究	新規	受託	R1	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	灰分除去処理を施した木質バイオマス活性炭の電気二重層キャパシタ特性	新規	受託	R1	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社

受託研究（競争的資金以外の研究）	CNFを利用した文化財用特殊膠の開発	新規	受託	R1	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社

（注）1　本表は試験研究機関において調製する。
2　研究テーマは事業ごとにまとめ、終了、継続、新規、廃止の順に記載すること。「継続」・「新規」の判別は監査年度を基準とし、「終了」・「廃止」は、その前年度において終了、廃止したものとする。
3　継続及び新規の研究の成果、成果の活用、普及等の状況については、調書調製日現在での成果又は記載される成果及びその活用等を「研究成果」欄、「研究成果の活用及び普及」欄にそれぞれ記載する。
4　廃止の研究テーマは、その理由を「研究成果」欄に記載する。
5　国庫補助事業及び国の委託事業を「国庫」とし、民間等の委託による研究を「受託」とする。
6　試験研究機関が単独で行う研究を「単独」、他の研究機関等と共同で行う研究を「共同」とする。後者の場合は、備考欄に共同研究相手名を記載する。

イ　沼津工業技術支援センター

区分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究期間	研究目的 背景等	研究成果	研究成果の活用及び普及等の状況	備考
新成長戦略研究	次世代型インプラントの型鍛造成形を可能にする設計支援技術の開発	継続	共同	H30～R2	インプラントの低価格化、カスタム化の流れに対応するため、型鍛造成形を取り入れた新たな加工法への転換が必要である。本研究では当該加工法によるインプラント製造を可能にする設計支援技術の開発を行う。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
新成長戦略研究 緊急対応研究枠	マリンバイオを活用した新たな食品開発に向けた微生物探索技術の開発	新規	共同	R1	マリンバイオ産業振興ビジョンに基づく先駆的な取組としてＲ２新成長戦略研究にてマリンバイオを活用した食品開発を行う。本研究では、この開発の加速化を目的に、利用可能な海洋由来微生物の探索等を行う。	サクラエビ等の海洋資源からサワーエール及び山廃仕込み清酒の製造に利用可能と思われる乳酸菌及び酵母を単離した。また、これら各株におけるアルコール生成能や有機酸生成能等の醸造適性を評価した。	本研究で得た微生物探索技術等に関する知見は次年度開始の新成長戦略研究にて活用するとともに、今後MaOIフォーラム等を通じて県内関連企業への普及を図る。	水産技術研究所 工業技術研究所 農林技術研究所 畜産技術研究所 環境衛生科学研究所
県単独研究	かつお腸管由来乳酸菌を用いた新奇発酵食品の開発	継続	単独	H30～R1	発酵食品市場では、機能性を付与した新しい商品の開発が求められている。そこで、かつお腸管由来乳酸菌を用い静岡県産の農産物を発酵させることで、新たな香味や機能性を有する新奇発酵食品の開発を行う。	農産物をかつお腸管由来乳酸菌で発酵させ、新たな香味や機能性を有していないか各種分析を行った。試作した豆乳ヨーグルトでは、オルニチン量が増加した。アレルギー物質であるヒスタミンは増加しなかった。	農産物、微生物共に静岡県産の新規発酵食品を開発することで、新たな静岡県の特産品の開発を行う。	R1年度から研究テーマ名、変更。R1年度は地方創生推進交付金（内閣府）
県単独研究	携帯情報端末を活用した酸素ボンベ残量メータの開発	継続	単独	H30～R1	人手不足解消などの社会問題解決が期待されている機械学習は、医療分野への活用も期待されている。以前に県内企業が製品化した酸素ボンベ残量計の新たなニーズ解決を通じて、医療での機械学習の可能性を探る。	機械学習を用いて酸素ボンベ計器部の自動読み取りを実現し、スマートフォン用アプリとして開発した。このアプリについて医療関係者より好意的な意見を得ることができ、機械学習の活用が期待できることを確認した。	県内の病院等の医療現場における利用や、ファルマバレープロジェクト参画企業への技術移転を図る。	

一般共同研究	しずおか有用微生物ライブラリを活用した静岡サワーエールの開発	継続	単独	H30～R1	本県には多くの地ビール製造場が存在し、県内メーカーからは酸味が特徴的なサワーエールの開発について要望が寄せられている。そこで本研究では、微生物ライブラリを活用した本県独自のサワーエールの開発を行う。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	県オリジナル酒造好適米新系統「静系96号」及び「静系97号」の醸造適性評価	新規	受託	R1	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	様々な酒類醸造用酵母株のビール醸造特性の評価	新規	受託	R1	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	骨折治療用インプラントの金属組織評価	新規	受託	R1	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社

（注）1　本表は試験研究機関において調製する。
2　研究テーマは事業ごとにまとめ、終了、継続、新規、廃止の順に記載すること。「継続」・「新規」の判別は監査年度を基準とし、「終了」・「廃止」は、その前年度において終了、廃止したものとする。
3　継続及び新規の研究の成果、成果の活用、普及等の状況については、調書調製日現在での成果又は記載される成果及びその活用等を「研究成果」欄、「研究成果の活用及び普及」欄にそれぞれ記載する。
4　廃止の研究テーマは、その理由を「研究成果」欄に記載する。
5　国庫補助事業及び国の委託事業を「国庫」とし、民間等の委託による研究を「受託」とする。
6　試験研究機関が単独で行う研究を「単独」、他の研究機関等と共同で行う研究を「共同」とする。後者の場合は、備考欄に共同研究相手名を記載する。

ウ　富士工業技術支援センター

区分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究期間	研究目的 背景等	研究成果	研究成果の活用 及び 普及等の状況	備考
新成長戦略研究	異種材料接合のための新型プラズマ照射装置の開発	継続	単独	H29～R1	新型プラズマ照射装置を開発して照射データを収集し実用化を目指す。また、各種照射条件を基に新規異種材料接合を目指す。県内企業が異種材料接合部品製造に取り組み、次世代自動車産業への参入を支援する。	新型プラズマ照射装置を活用してプラズマ照射による接着力向上と照射条件を取得し、データのライブラリ化を行った。そのデータを利用した企業支援を20社以上行った。	日本各地で研究発表を行い、200名以上と情報交換を行った。それを基に県内外の企業と連携を進めて20社以上のテストを行い、そのうちの３社が技術導入し１社が装置導入検討した。	
新成長戦略研究	次世代自動車軽量化のためのCNF複合材の開発	新規	単独	H31～R3	自動車用部材等の成形に必要なマスターバッチを開発し、県内企業にマスターバッチの提供と製造技術の普及を行うことにより、企業のCNF関連産業への参入を推進する。	セルロース繊維のダメージを防ぐため、パルプ粉砕の前処理は短時間が好ましいことがわかった。また、長いCNFの方が複合材の強度が高くなった。さらに、マイクロＸ線CT装置でCNFの分散状態を可視化できた。	企業訪問、技術相談などを通して成果の普及を進めている。	静岡大学
県単独研究	再生紙の低密度化に関する研究	新規	単独	H31～R2	特殊更紙は古紙品質の低下で製品品質の維持が難しくなっており、また重要な紙厚確保のため価格は変えず原料を多く使用しているため、県内企業からコスト低減と品質向上に寄与する低密度化の技術調査・開発を要望された。	低密度化が期待できる原料・処方について実験から明らかにした。従来、印刷用紙の原料に用いない段ボール古紙は、漂白すれば特殊更紙に配合可能で、安価なためコスト低減でき、強度向上も期待できることが分かった。	研究成果の検証として、県内協力製紙会社２社で実機抄造テストを実施した。低密度化・強度向上といった期待していた効果が発揮されることを確認した。技術指導や相談を通して他の工場にも普及する予定である。	
一般共同研究	CNFによる地域産業の活性化支援研究～CNFの繊維製品への活用の検討～	新規	共同	R1	県で実用化を推進しているCNFは、幅広い産業分野への利用が期待されている。県内地場産業である繊維産業へのCNFの活用について検討し、CNFを付与した布の機能性を調べることでCNF実用化を促す。	緑茶の茶葉から作製したCNFを塗工した布は、ガスバリア性、保温性、アンモニアに対する消臭性を示した。実用化に向け、耐洗濯性があることやスクリーン印刷できることが分かった。	繊維学会等の国内外の学会における成果発表や技術相談対応により普及するとともに、試作品を多くの展示会等で展示することで、認知度の向上を図る。	東京家政大学

一般共同研究	CNF製造に関する解繊エネルギーの低減	新規	共同	R1 ～ R3	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
一般共同研究	古紙等のパルプ繊維を複合化したハイブリッド樹脂におけるCNF分散制御技術の確立	新規	共同	R1 ～ R3	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
一般共同研究	樹脂中に含まれる微小な植物繊維の定量評価法検討	新規	共同	R1 ～ R3	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
一般共同研究	計測・センシング技術の動物繁殖現場への応用展開	新規	共同	H31 ～ R2	H28年度までに製品化した介護用見守りシステムを動物分野に応用し、様々な繁殖環境に適応可能な牛の分娩検知技術の開発、製品化を行う。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社 畜産技術研究所

（注）1　本表は試験研究機関において調製する。
2　研究テーマは事業ごとにまとめ、終了、継続、新規、廃止の順に記載すること。「継続」・「新規」の判別は監査年度を基準とし、「終了」・「廃止」は、その前年度において終了、廃止したものとする。
3　継続及び新規の研究の成果、成果の活用、普及等の状況については、調書調製日現在での成果又は記載される成果及びその活用等を「研究成果」欄、「研究成果の活用及び普及」欄にそれぞれ記載する。
4　廃止の研究テーマは、その理由を「研究成果」欄に記載する。
5　国庫補助事業及び国の委託事業を「国庫」とし、民間等の委託による研究を「受託」とする。
6　試験研究機関が単独で行う研究を「単独」、他の研究機関等と共同で行う研究を「共同」とする。後者の場合は、備考欄に共同研究相手名を記載する。

エ　浜松工業技術支援センター

区分 事業名	研究テーマ (細目) 研究内容	終了 継続 新規 廃止 の別	国庫 受託 単独 共同 の別	研究期間	研究目的 背景等	研究成果	研究成果の活用 及び 普及等の状況	備考
新成長戦略研究	次世代自動車の軽量化に貢献する3D熱変形等計測・評価技術の開発	継続	単独	H29 ～ R1	次世代自動車に求められる車載部品の軽量化を目的に、３D熱変形計測システム、熱変形シミュレーション技術、品質工学を適用した３D熱変形公差技術を確立する。	インホイールモーターカバーをモデルにして、熱変形や放熱性を考慮した最適な形状をシミュレーションで設計した後、３D熱変形を考慮した公差設定を行った。また、実部品を製作し、公差設定の妥当性を検証した。	地元企業及び静岡文化芸術大学と熱変形研究グループを結成し、熱変形に関して企業が抱える課題を抽出した。また開発した3D熱変形計測システムを活用して企業との共同実験を開始した。	
新成長戦略研究 緊急対応研究枠	次世代自動車の構造材料に関するデータベースの構築	新規	単独	R1	２代目リーフが市販EVの最新モデルである内に、EV部品に関する情報を調査し、地域企業に情報提供する。 また、超ハイテン材の塑性加工技術を高度化するため、材料評価方法を確立する。	EVの主要部品であるモーター、インバーター等について寸法、重量、材質などのデータベースを作成した。また、材料評価については２軸引張試験機や残留応力測定装置を用いて詳細な材料特性を評価を確立した。	材料の加工性評価や共同実験により、県内企業のEV部品開発を支援する。また、協調領域においては、はままつ超ハイテン研究会、次世代自動車センターと連携して事業の相乗効果を図る。	
新成長戦略研究 チャレンジ研究枠	撥液めっき技術の高度化のためのめっき２層化の試み	新規	共同	R1	医療分野への応用を目指し、試料表面に「めっき」により凹凸構造を作製し撥液性を発現させる技術(撥液めっき技術)を開発している。 この技術において、凹凸構造を２層化することでさらに撥液性の向上を試みる。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社 静岡理工科大学
県単独研究	分光特性を利用したものづくりの品質検査に関する研究	継続	単独	H30 ～ R2	企業の品質管理において、樹脂製品の残留応力や金属表面の形状を評価することが必要とされている。本研究では、検査対象の分光特性を利用した樹脂内部の応力分布と大面積の表面粗さ分布を測定する技術を確立する。	構築した複屈折分布可視化装置で、見た目が不透明な樹脂の応力印加時の複屈折分布を可視化した。表面粗さの測定技術開発では、試料形状と分光反射率の相関を評価し、色彩計測で粗さを推定できることを確認した。	複屈折分布可視化装置を用いて、樹脂製部品の不具合に関する企業支援を行った。また、色彩計を用いた表面粗さ測定機の製品化を目指す企業を支援した。	

県単独研究	EMC試験機器の日常点検法の確立と不確かさの算出による測定信頼性の向上	継続	単独	H30～R1	地域企業が行なうEMC試験への支援体制を整えることを目的に、EMC機器類の日常点検法の確立、及び測定の不確かさを検討することにより、当センターにおけるEMC測定の信頼性向上を図る。	民生電子機器に対する伝導妨害波測定、放射妨害波測定の不確かさを検討するとともに、各種ノイズ耐性試験の日常点検手順書を作成し、運用を開始した。今回、車載電子機器向け試験にも日常点検を開始した。	日常点検による機器の適切な維持管理や測定の不確かさの算出・管理を行うことにより、当センターを利用する地域企業に対し、民生及び車載機器に対する信頼性の高いEMC試験環境を提供する。	
一般共同研究	レーザーを用いた樹脂材料への染色技術の産業応用	継続	共同	H29～R1	これまで培ってきたレーザーを利用した着色技術を、要望の高い「樹脂や繊維製品への均一な着色や視認性の良いマーキング」へ適用するための技術開発を行う。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業2社
一般共同研究	医療器具関連のレーザー加工装置の開発	継続	共同	H29～R1	企業から、金属や樹脂の様々な材料に対するレーザー加工装置、周辺装置について開発依頼がある。その中から、医療器具関連の課題について、レーザーの特性を活かした加工方法と装置を開発する。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
一般共同研究	材料評価・解析のスキルアップに向けたサンプリングメソッドの開発	新規	共同	H31～R2	近年の取り組みで材料の評価・解析スキルは確実に向上しつつあるが、「難サンプリング材」に関する技術相談も多いことから、様々な難サンプリング材を適切かつ効率的にサンプリングするメソッドを開発する。	共同研究につき公表を控えます。	共同研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金による研究） 中小企業経営支援等対策費補助金（戦略的基盤技術高度化支援事業）	熱可塑性樹脂を母材とした繊維強化複合材の成形加工に関する研究開発	継続	受託	H29～R2	本研究開発では、軽量化ニーズに対応するため、一方向炭素繊維強化樹脂テープを用いて、独自の圧縮成形技術により、形状自由度が高く、低コストのCFRTP造形技術の開発を目指す。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業2社 静岡大学

受託研究（競争的資金による研究） 研究成果展開事業A-STEP機能検証フェーズ（JST）	めっき技術による撥液性皮膜作成技術の開発	継続	共同	H30 ～ R2	医療・バイオ・環境を中心に様々な分野で微量の液体を扱う技術が利用されており、液離れを容易にする“撥液性付与技術”が望まれている。本研究ではめっきを利用した撥液性表面作製技術を開発する。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社 静岡理工科大学
受託研究（競争的資金による研究） 中小企業経営支援等対策費補助金（戦略的基盤技術高度化支援事業）	マイクロテクスチャエンドミルの主軸反転傾斜切削による超微細パウダー製造技術の開発	新規	受託	H31 ～ R2	超短パルスレーザを用いてPCD切削工具に微小テクスチャを付与し、工具回転軸を正逆に傾斜した切削技術と組み合わせて、微小かつ任意の大きさの切り粉をパウダーとして効率的に製造できる技術を開発する。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社 東京電機大学 光産業創成大学院大学
受託研究（競争的資金による研究） 新成長産業戦略的育成事業助成事業（県産業振興財団）	加熱成形されたステンレス部品の物性評価	新規	受託	R1	素材を加熱することで成形性は向上するが、物性に与える影響がわかっていない。通常の冷間成形されたステンレス部品と加熱成形されたステンレス部品の物性評価を行なうことで、加熱による物性の変化を調べる。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	FSW接合したアルミニウム合金鋳造材の組織と引張特性の評価	新規	受託	R1	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	新規表面処理高張力チェーンの性能評価について	新規	受託	R1	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	耐フッ素コーティングの評価について	新規	受託	R1	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社

受託研究（競争的資金以外の研究）	電磁鋼板のレーザー切断加工における照射条件の影響	新規	受託	R1	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	リードフレーム上Auめっきの変色原因の解析に関する研究	新規	受託	R1	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社
受託研究（競争的資金以外の研究）	生分解性プラスチックの紡糸に関する研究	新規	受託	R1	競争的資金以外の受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	受託研究につき公表を控えます。	企業1社

（注）1　本表は試験研究機関において調製する。
2　研究テーマは事業ごとにまとめ、終了、継続、新規、廃止の順に記載すること。「継続」・「新規」の判別は監査年度を基準とし、「終了」・「廃止」は、その前年度において終了、廃止したものとする。
3　継続及び新規の研究の成果、成果の活用、普及等の状況については、調書調製日現在での成果又は記載される成果及びその活用等を「研究成果」欄、「研究成果の活用及び普及」欄にそれぞれ記載する。
4　廃止の研究テーマは、その理由を「研究成果」欄に記載する。
5　国庫補助事業及び国の委託事業を「国庫」とし、民間等の委託による研究を「受託」とする。
6　試験研究機関が単独で行う研究を「単独」、他の研究機関等と共同で行う研究を「共同」とする。後者の場合は、備考欄に共同研究相手名を記載する。

静岡県工業技術研究所
〒421-1298　静岡市葵区牧ヶ谷２０７８
TEL　054-278-3028　　FAX　054-278-3066

静岡県工業技術研究所
沼津工業技術支援センター
〒410-0022　沼津市大岡３９８１－１
TEL　055-925-1100　　FAX　055-925-1108

静岡県工業技術研究所
富士工業技術支援センター
〒417-8550　富士市大渕２５９０－１
TEL　0545-35-5190　　FAX　0545-35-5195

静岡県工業技術研究所
浜松工業技術支援センター
〒431-2103　浜松市北区新都田１－３－３
TEL　053-428-4151　　FAX　053-428-4160

令和元年度　年報
静岡県工業技術研究所

令和３年２月発行（2021）

編集・発行　　静岡県工業技術研究所
企画調整部
〒421-1298　静岡市葵区牧ヶ谷2078
TEL　054-278-3028
FAX　054-278-3066